

## 2. 6 日常生活について【65歳以上のみ】

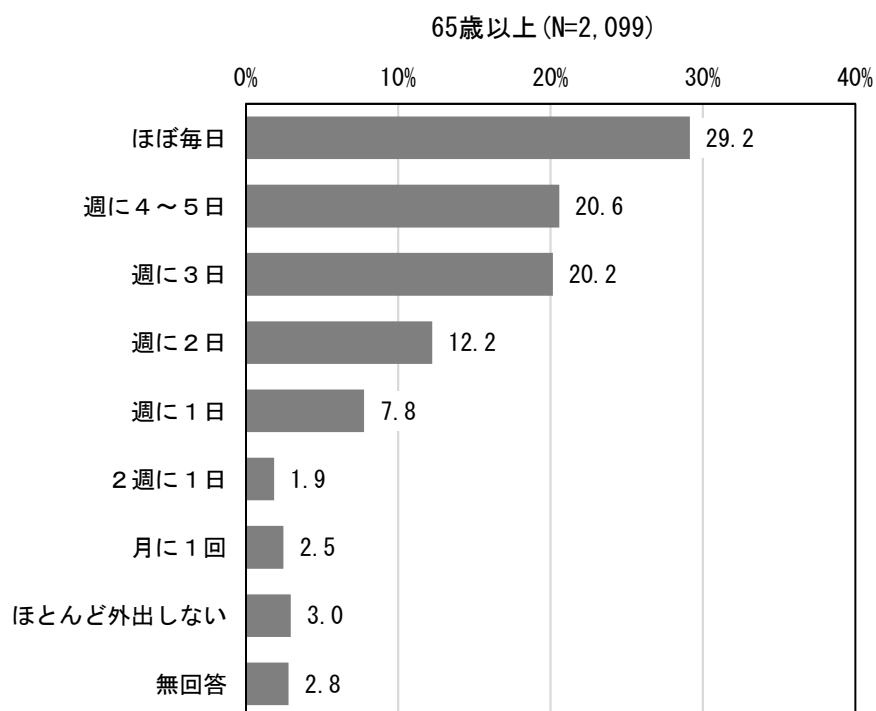
### 問6-1 外出（通院を除く）について

#### (1) 外出頻度

あなたは、どのくらいの頻度で外出をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

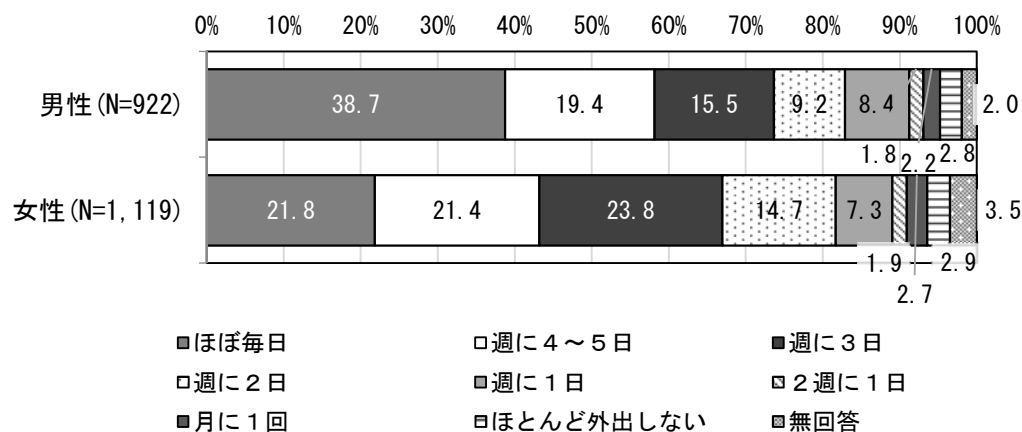
どのくらいの頻度で外出をしているかについてたずねたところ、「ほぼ毎日」(29.2%)が最も多く、次いで、「週に4～5日」(20.6%)、「週に3日」(20.2%)となっている。

図表2-6-1 外出頻度



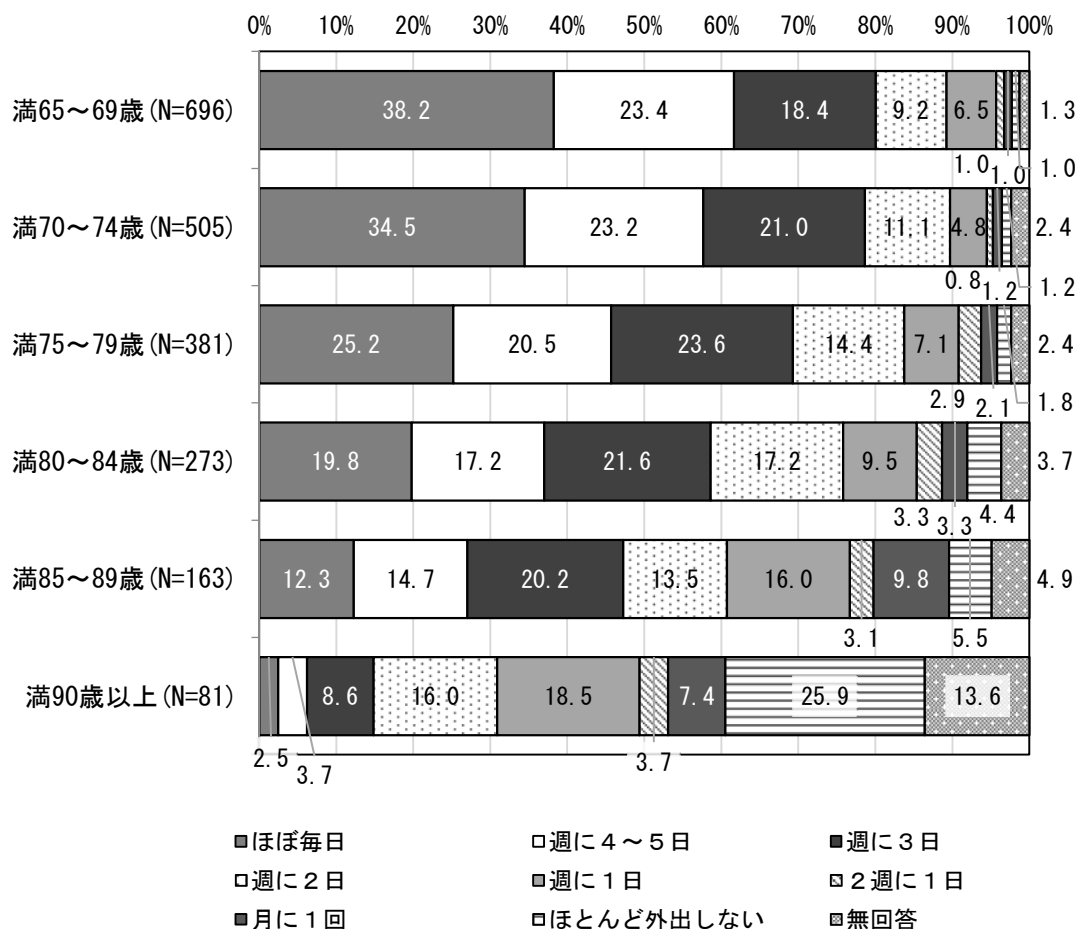
男女別にみると、「ほぼ毎日」とする割合は、男性が38.7%、女性が21.8%と、男性の方が高くなっている。

図表2-6-2 問6-1(1) 外出頻度 × 問1-1 性別 【65歳以上】



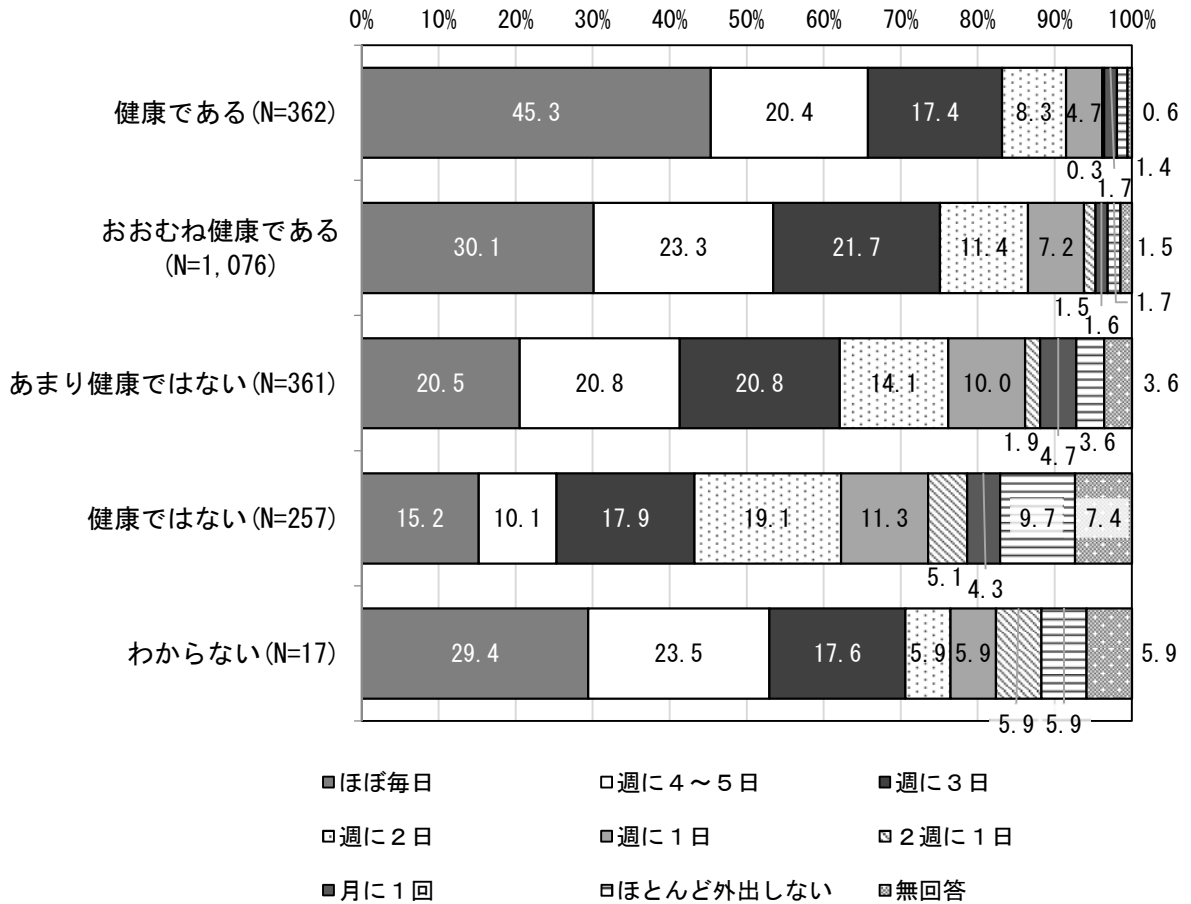
年齢別にみると、「ほぼ毎日」「週に4～5日」を合わせた割合は、「満65～69歳」は61.6%と最も高く、年齢層が高くなるにつれ、その割合は低くなっている。

図表2-6-3 問6-1(1) 外出頻度 × 問1-2 年齢 【65歳以上】



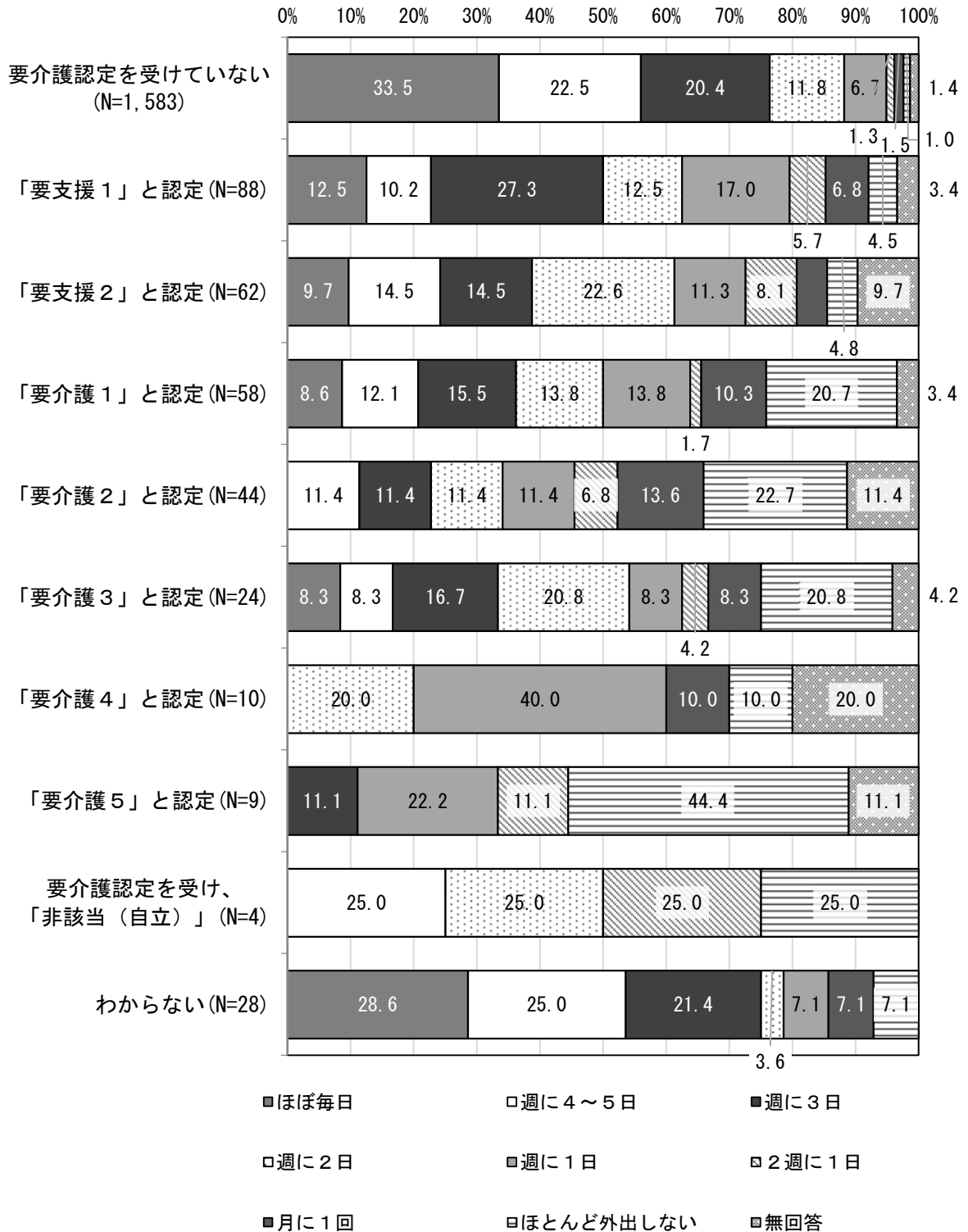
主観的健康感別にみると、「ほぼ毎日」「週に4～5日」を合わせた割合は、「健康である」と回答した人は65.7%と最も高く、自分が健康ではないと回答した人ほどその割合は低くなっている。

図表2-6-4 問6-1(1) 外出頻度 × 問4-1 主観的健康感 【65歳以上】



要介護認定の状況別にみると、「ほぼ毎日」「週に4～5日」を合わせた割合は、要支援1から要介護1までで、20%を超えている。

図表2-6-5 問6-1(1) 外出頻度 × 問4-10 要介護認定を受けているか 【65歳以上】



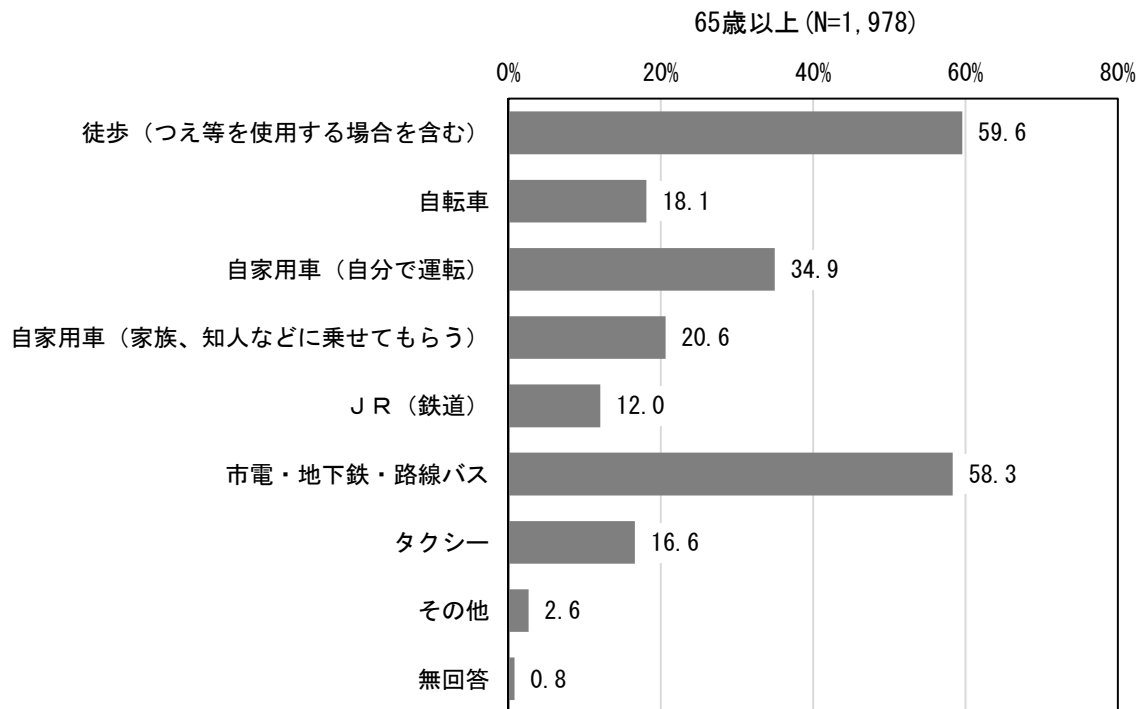
## (2) 外出の移動手段

[複数回答]

外出をしている方にうかがいます。外出する際の移動手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

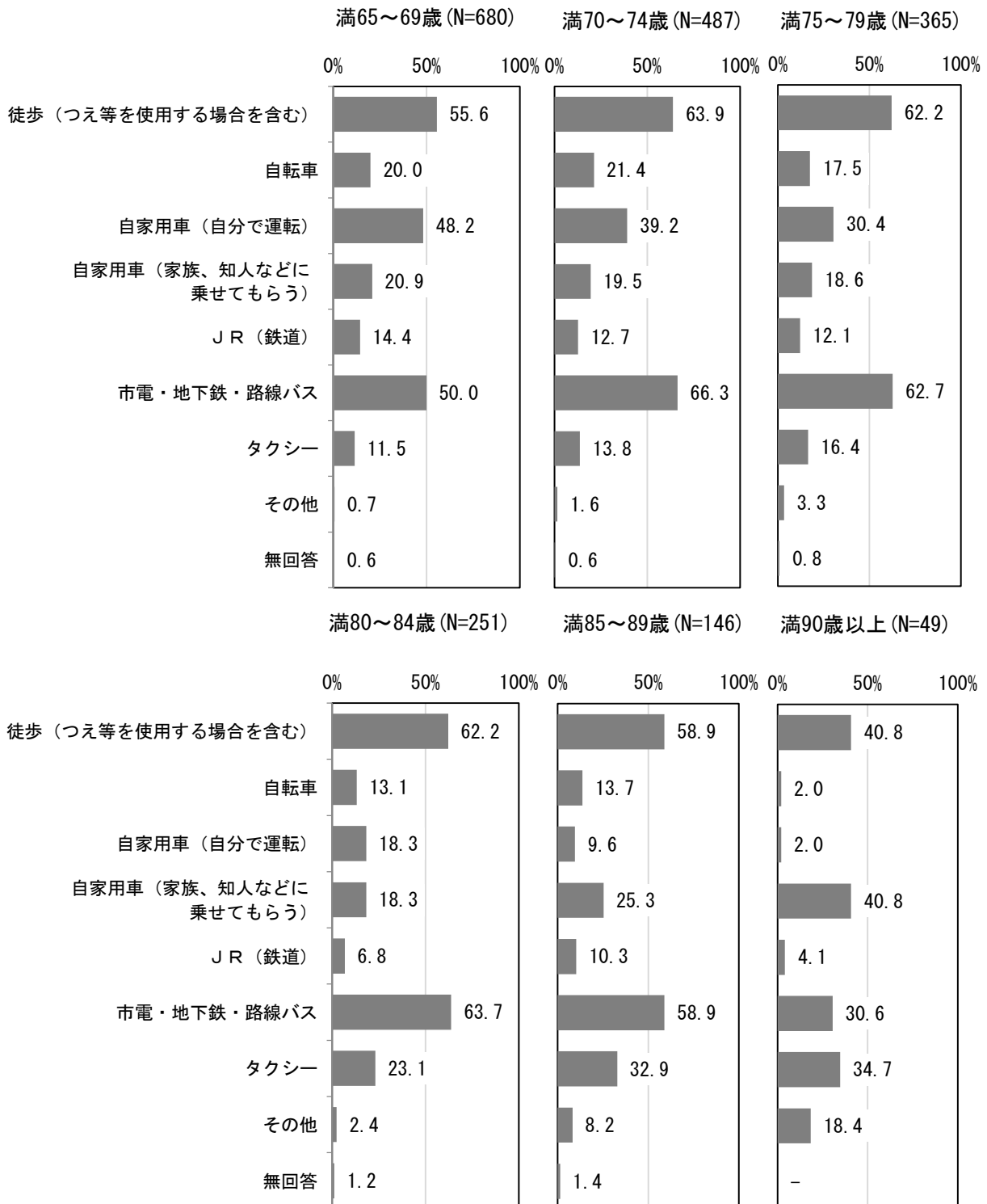
問6-1(1)で、「外出する」と回答した方に、外出する際の移動手段をたずねたところ、「徒歩」(59.6%)が最も多く、次いで、「市電・地下鉄・路線バス」(58.3%)、「自家用車(自分で運転)」(34.9%)となっている。

図表2-6-6 外出の移動手段



年齢別にみると、満 65～69 歳では、「自家用車（自分で運転）」の割合が、他の年齢層に比べて高くなっている。また、満 70 歳以上では、年齢層が高くなるほど、「徒歩（つえ等を使用する場合を含む）」「市電・地下鉄・路線バス」の割合が低くなり、「自家用車（家族、知人などに乗せてもらう）」「タクシー」の割合が高くなっている。

図表 2-6-7 問 6-1(2) 外出の移動手段 × 問 1-2 年齢

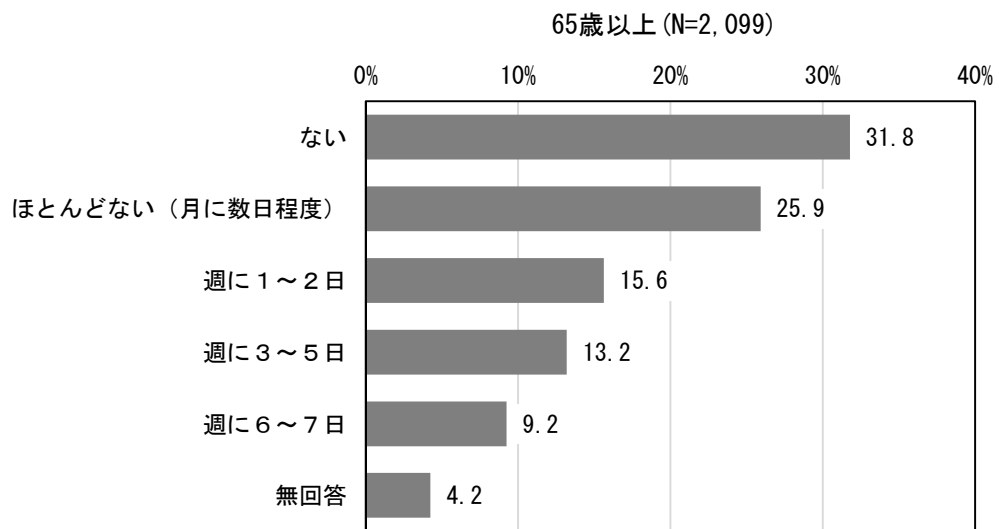


## 問6-2 日中一人で過ごすことはあるか

あなたは日中、ひとりで過ごすことが、1週間に何日くらいありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

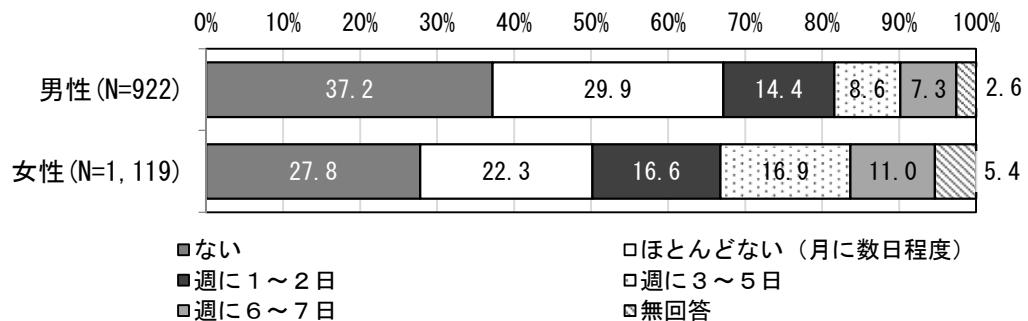
日中、ひとりで過ごすことが1週間に何日くらいあるかたずねたところ、「ない」(31.8%)が最も多く、次いで、「ほとんどない(月に数日程度)」(25.9%)、「週に1～2日」(15.6%)となっている。

図表2-6-8 日中一人で過ごすことはあるか



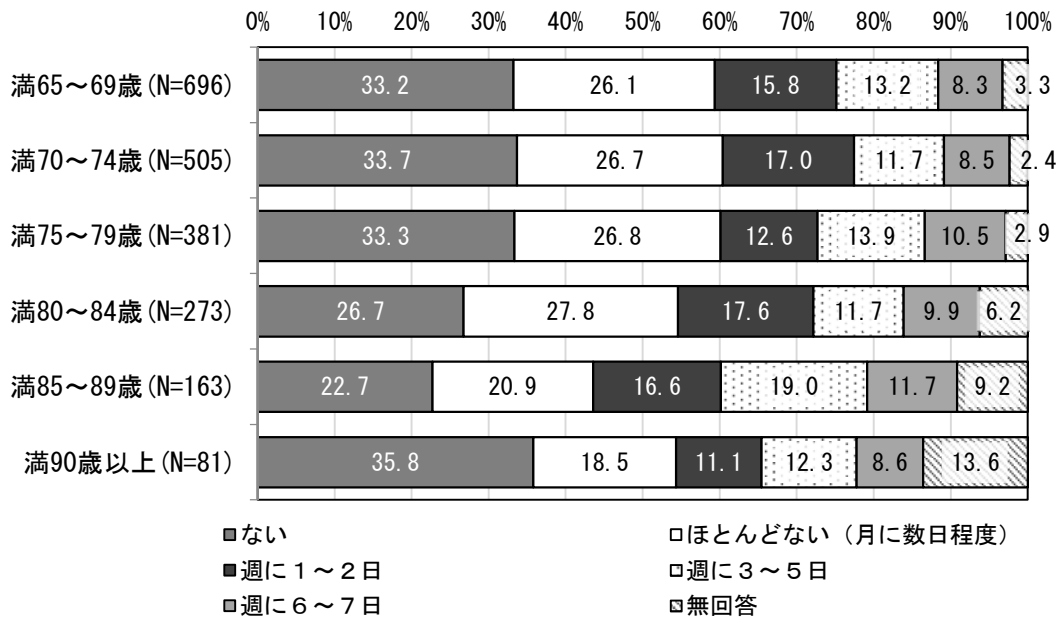
男女別にみると、男性の方が「ない」「ほとんどない（月に数日程度）」の割合が高くなっている。

図表2-6-9 問6-2 日中一人で過ごすことはあるか × 問1-1 性別 【65歳以上】



年齢別にみると、満89歳までは年齢層が高くなるにつれ「ない」「ほとんどない」とする割合が低くなり、満85~89歳は43.6%となっている。

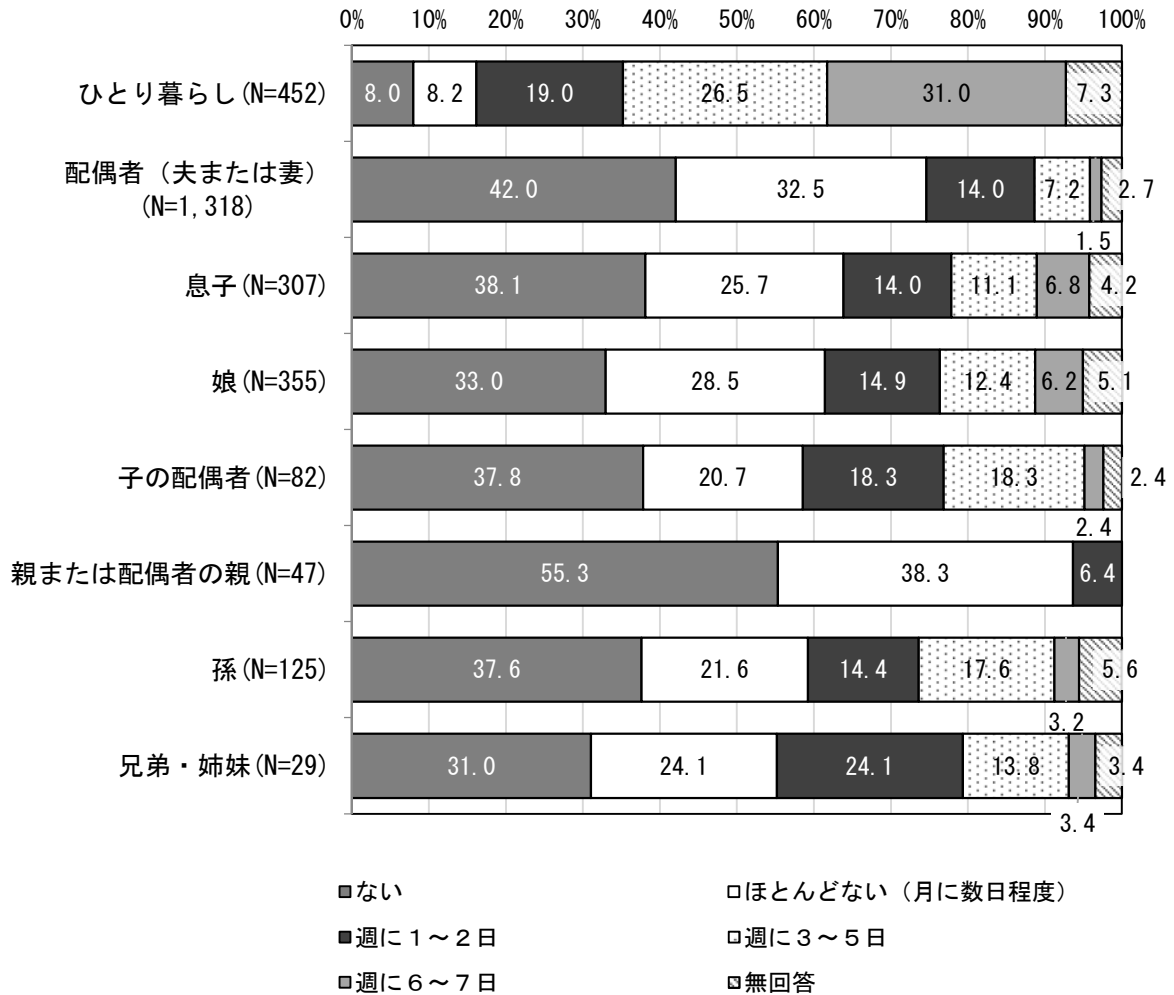
図表2-6-10 問6-2 日中一人で過ごすことはあるか × 問1-2 年齢 【65歳以上】





同居者の続柄別にみると、「親または配偶者の親」「配偶者（夫または妻）」と同居している人は、「ない」「ほとんどない」とする割合が特に高くなっている。

図表2-6-11 問6-2 日中一人で過ごすことはあるか × 問2-1(1) 同居者の続柄  
【65歳以上】

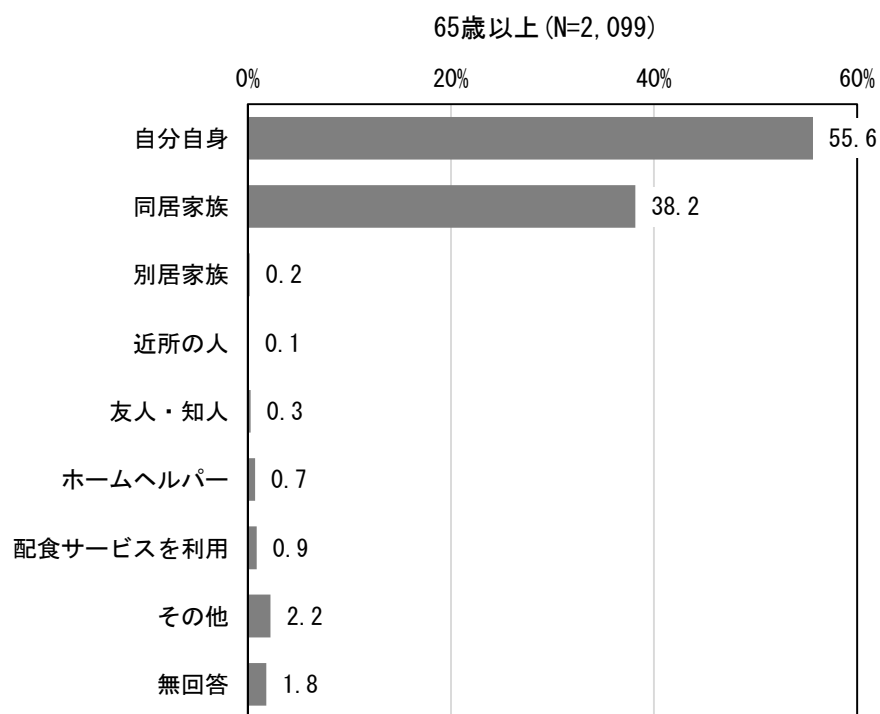


### 問6-3 主に食事を用意する人

主に食事の用意をする人はどなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

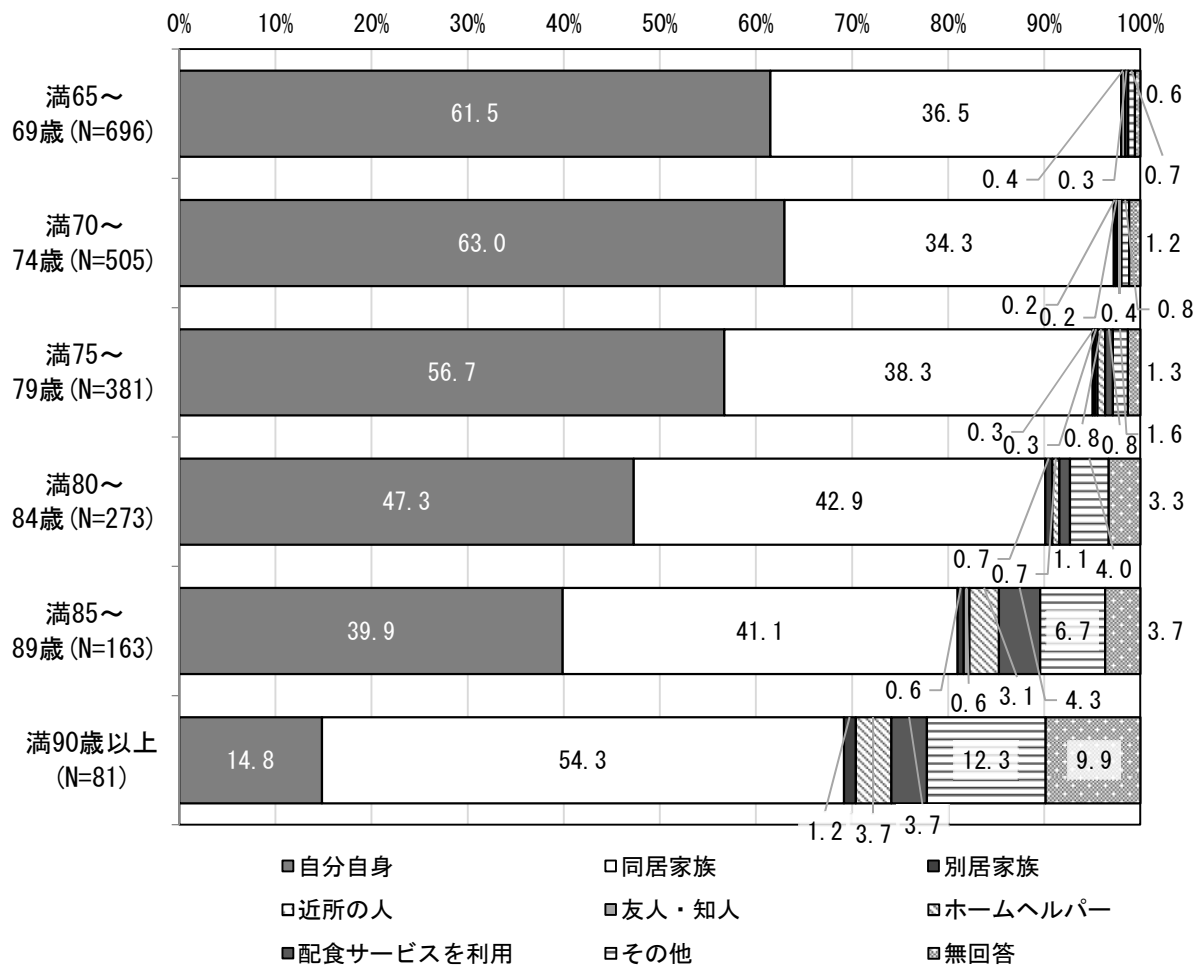
主に食事の用意をする人についてたずねたところ、「自分自身」(55.6%)が最も多く、次いで、「同居家族」(38.2%)となっている。

図表2-6-12 主に食事を用意する人



年齢別にみると、年齢層が高くなるほど「自分自身」とする割合が低くなり、満85～89歳は39.9%、満90歳以上は14.8%となっている。

図表2-6-13 問6-3 主に食事を用意する人 × 問1-2 年齢【65歳以上】

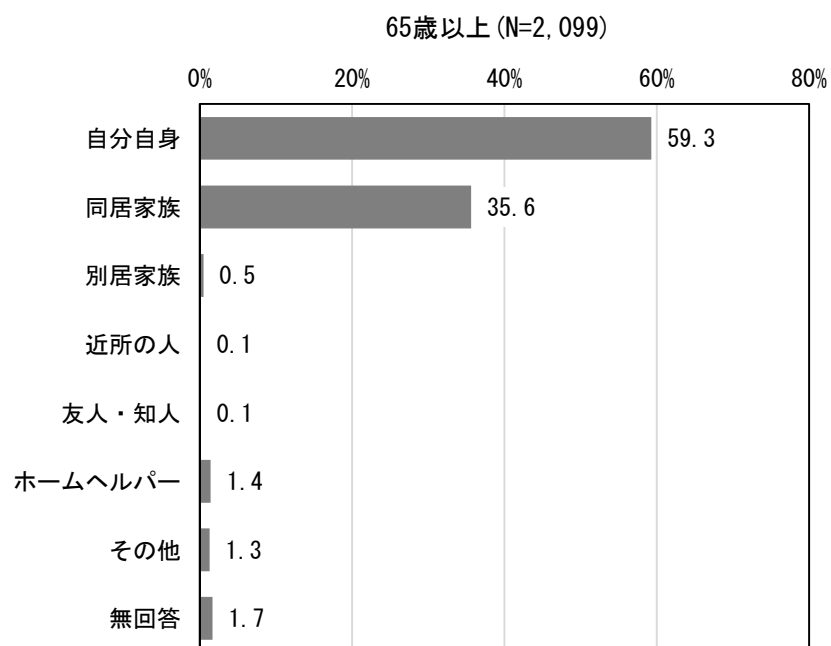


## 問6-4 主に洗濯・掃除をする人

主に洗濯や掃除をする人はどなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

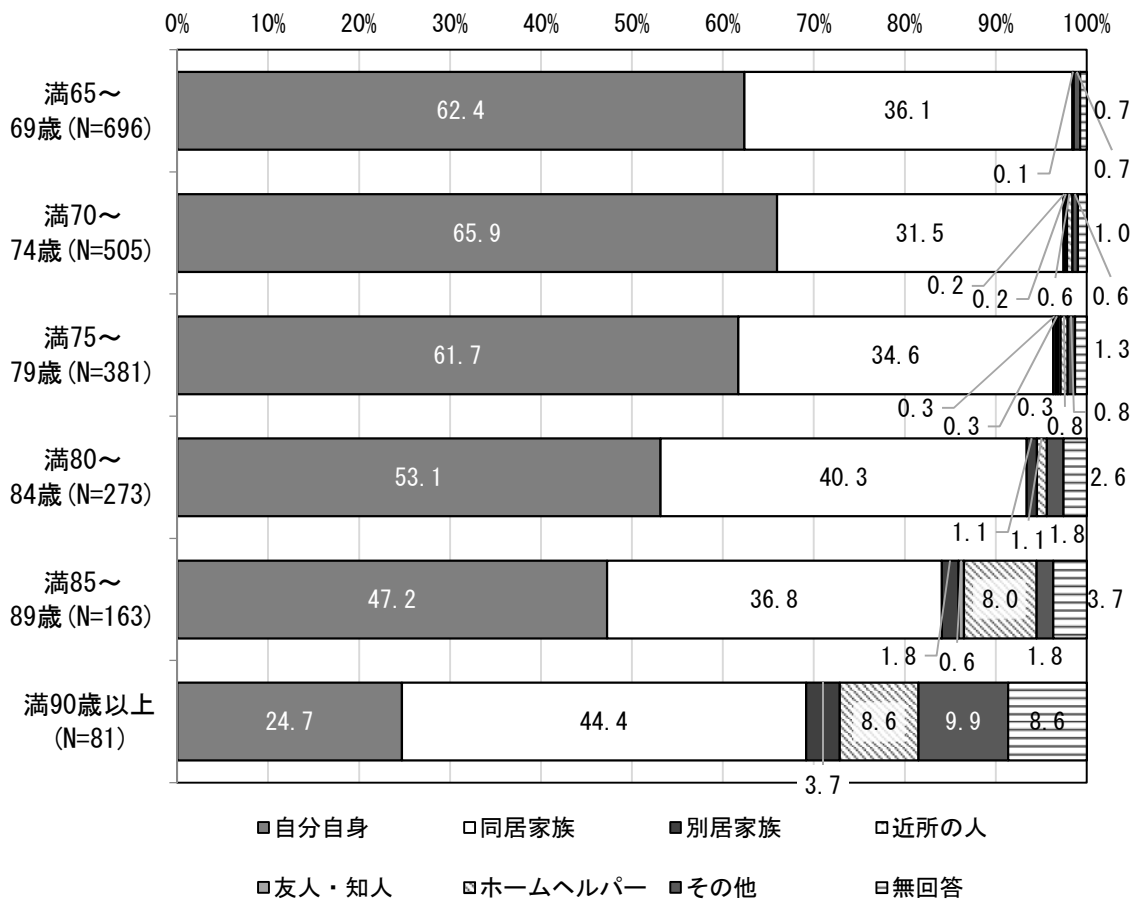
主に洗濯や掃除をする人についてたずねたところ、「自分自身」(59.3%)が最も多く、次いで、「同居家族」(35.6%)となっている。

図表2-6-14 主に洗濯・掃除をする人



年齢別にみると、年齢層が高くなるほど「自分自身」とする割合が低くなり、満85～89歳は47.2%、満90歳以上は24.7%となっている。

図表2-6-15 問6-4 主に洗濯・掃除をする人 × 問1-2 年齢 【65歳以上】

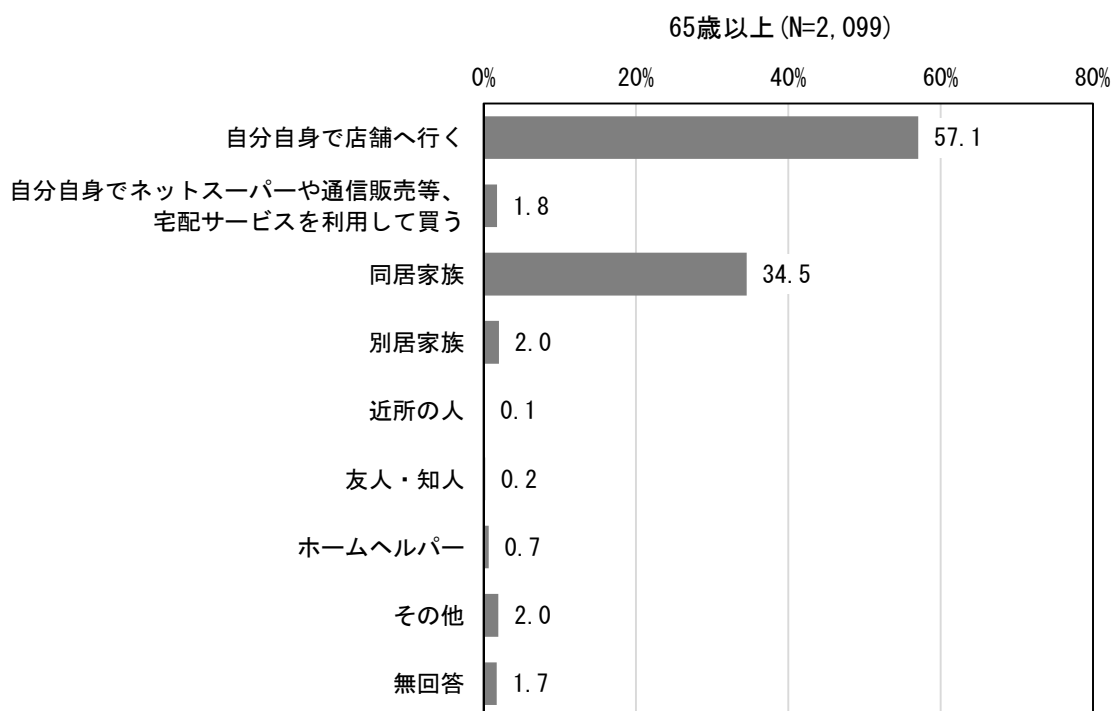


## 問6-5 主に日常の買い物をする人

主に日常の買い物を行うのはどなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

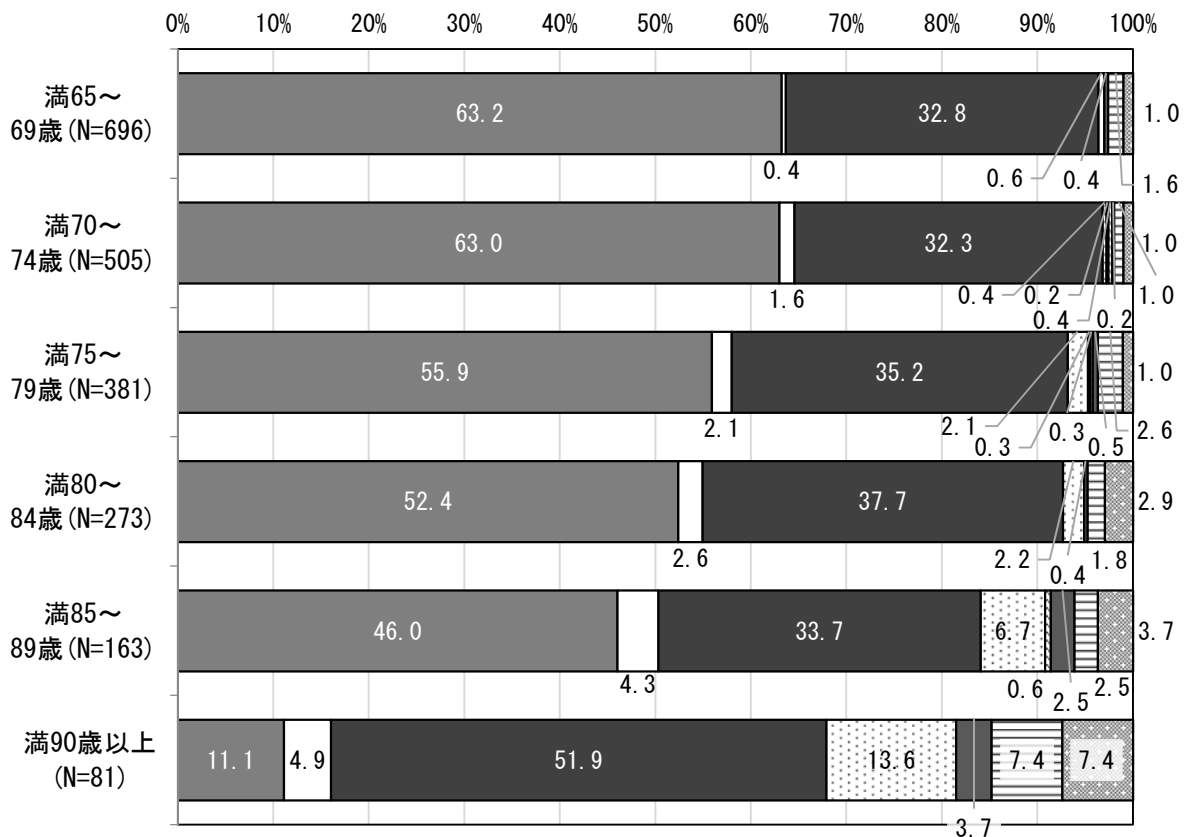
主に日常の買い物を行う人についてたずねたところ、「自分自身で店舗へ行く」(57.1%)が最も多く、次いで、「同居家族」(34.5%)となっている。

図表2-6-16 主に日常の買い物をする人



年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれ「自分自身で店舗へ行く」とする割合が低くなり、満85～89歳は46.0%、満90歳以上は11.1%となっている。

図表2-6-17 問6-5 主に日常の買い物をする人 × 問1-2 年齢【65歳以上】



- 自分自身で店舗へ行く
- 自分自身でネットスーパーや通信販売等、宅配サービスを利用して買う
- 同居家族
- 別居家族
- 近所の人
- 友人・知人
- ホームヘルパー
- その他
- 無回答

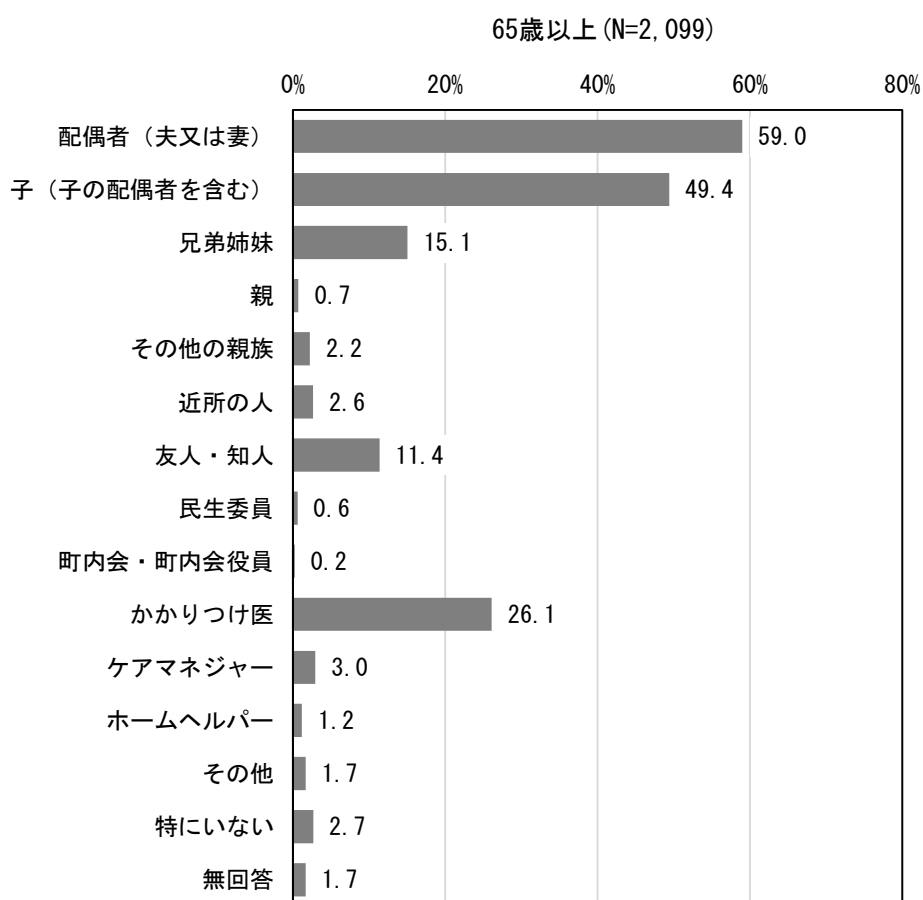
## 問6-6 体調を崩したときに相談する相手

[複数回答]

あなたが体調を崩したときに、身体の不調をどなたに相談しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

体調を崩したときに、身体の不調を誰に相談するかについてたずねたところ、「配偶者（夫又は妻）」（59.0%）が最も多く、次いで、「子（子の配偶者を含む）」（49.4%）、「かかりつけ医」（26.1%）となっている。

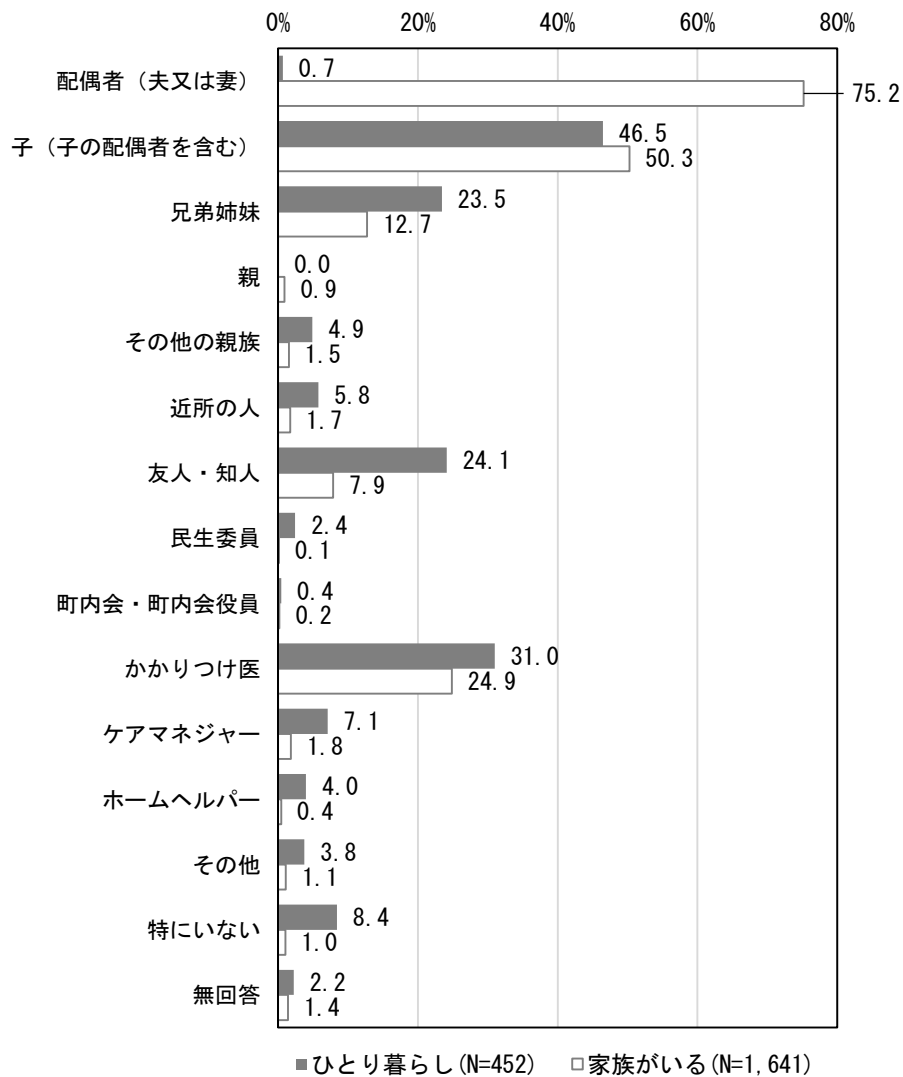
図表2-6-18 体調を崩したときに相談する相手





家族構成別にみると、「ひとり暮らし」と回答した人は「子（子の配偶者を含む）」（46.5%）、「かかりつけ医」（31.0%）の順に高くなっており、「家族がいる」と回答した人は「配偶者（夫又は妻）」（75.2%）、「子（子の配偶者を含む）」（50.3%）の順に高くなっている。

図表2-6-19 問6-6 体調を崩したときに相談する相手 × 問2-1 同居家族の有無  
【65歳以上】



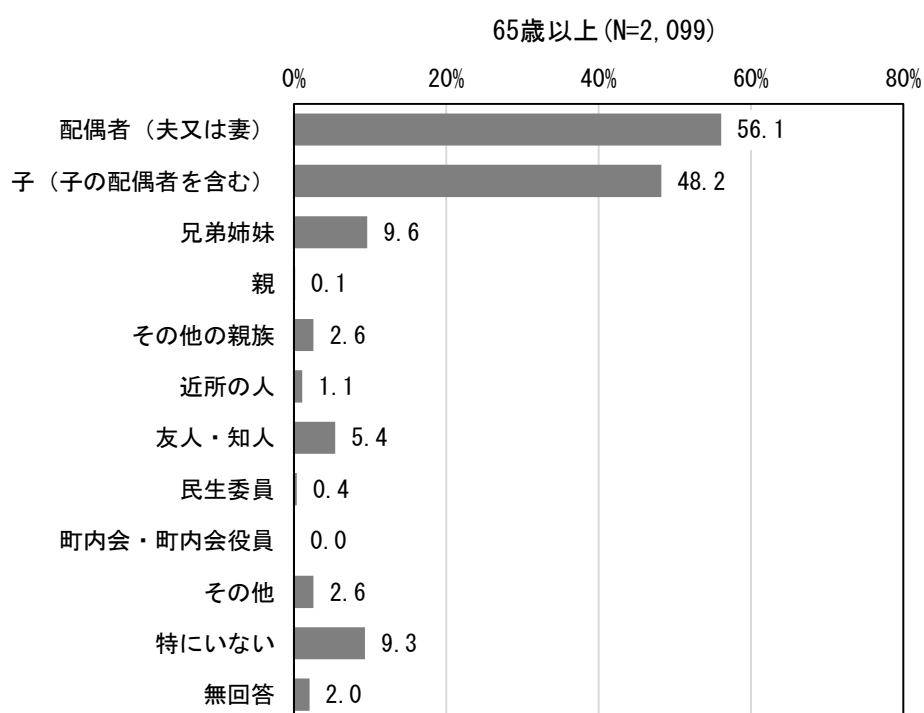
問6-7 体調を崩したときに病院の付き添いを頼む相手

[複数回答]

あなたが体調を崩したときに、病院への付き添いを頼む人はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

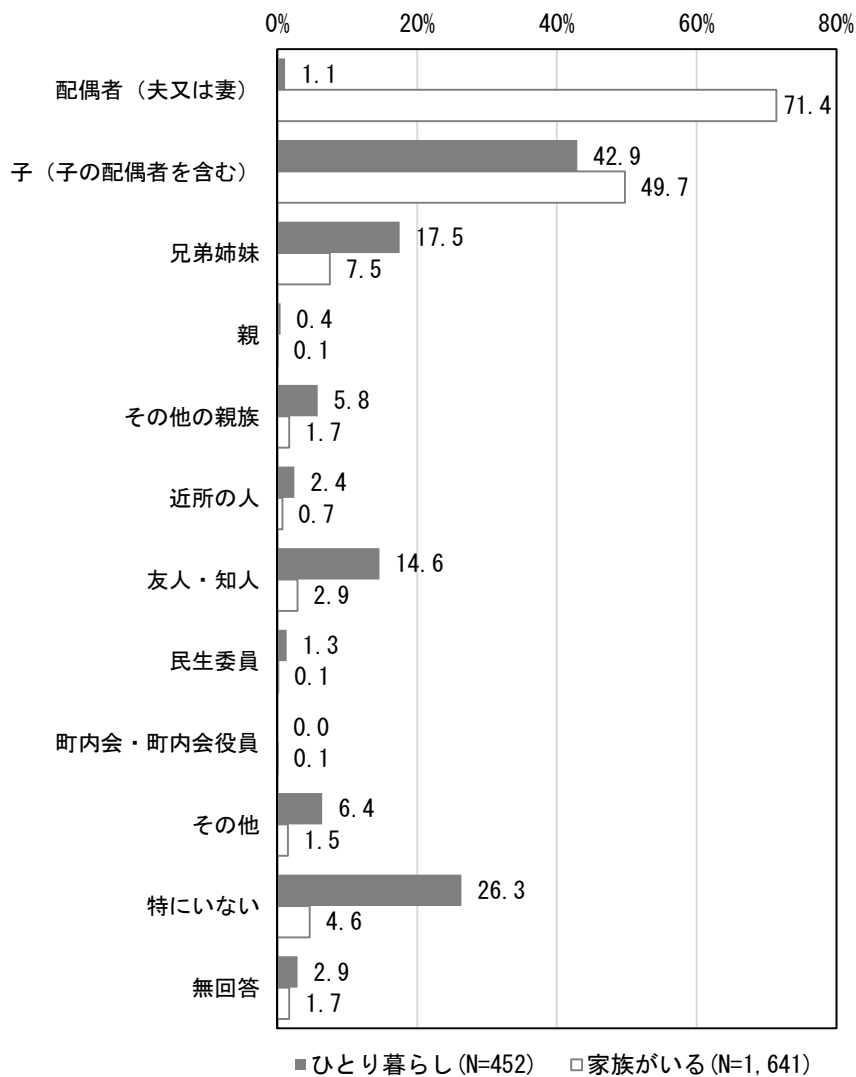
体調を崩したときに、病院への付き添いを頼む人についてたずねたところ、「配偶者（夫又は妻）」（56.1%）が最も多く、次いで、「子（子の配偶者を含む）」（48.2%）、「兄弟姉妹」（9.6%）となっている。

図表2-6-20 体調を崩したときに病院の付き添いを頼む相手



家族構成別にみると、「ひとり暮らし」と回答した人は「子（子の配偶者を含む）」（42.9%）、「特にいない」（26.3%）の順に高くなっており、「家族がいる」と回答した人は「配偶者（夫又は妻）」（71.4%）、「子（子の配偶者を含む）」（49.7%）の順に高くなっている。

図表2-6-21 問6-7 体調を崩したときに病院の付き添いを頼む相手 × 問2-1 同居家族の有無【65歳以上】



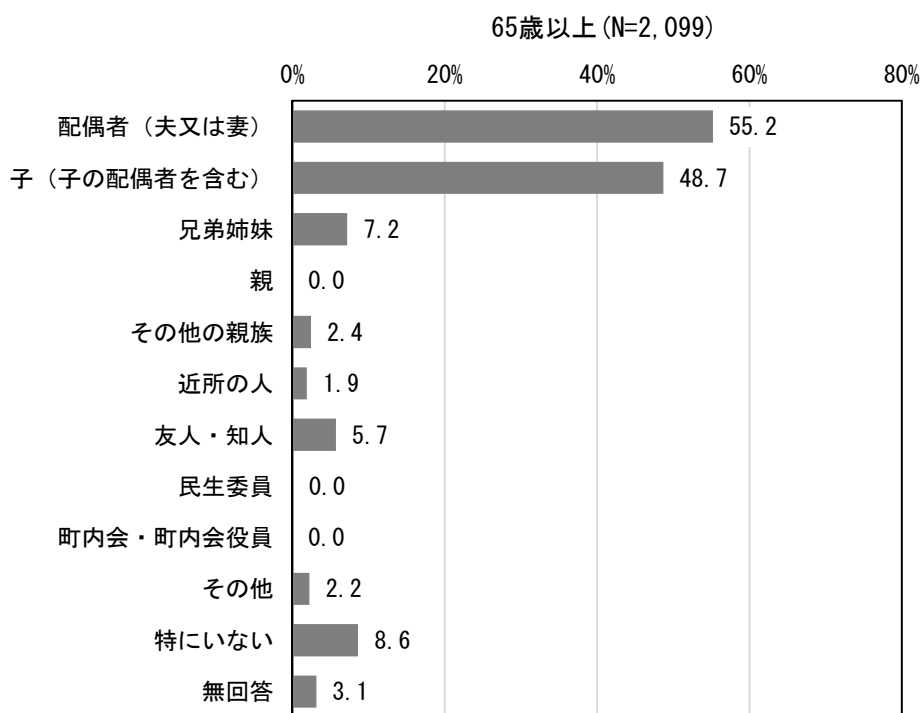
問6-8 体調を崩したときに買い物を頼む相手

[複数回答]

あなたが体調を崩したときに、買い物を頼む人ほどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

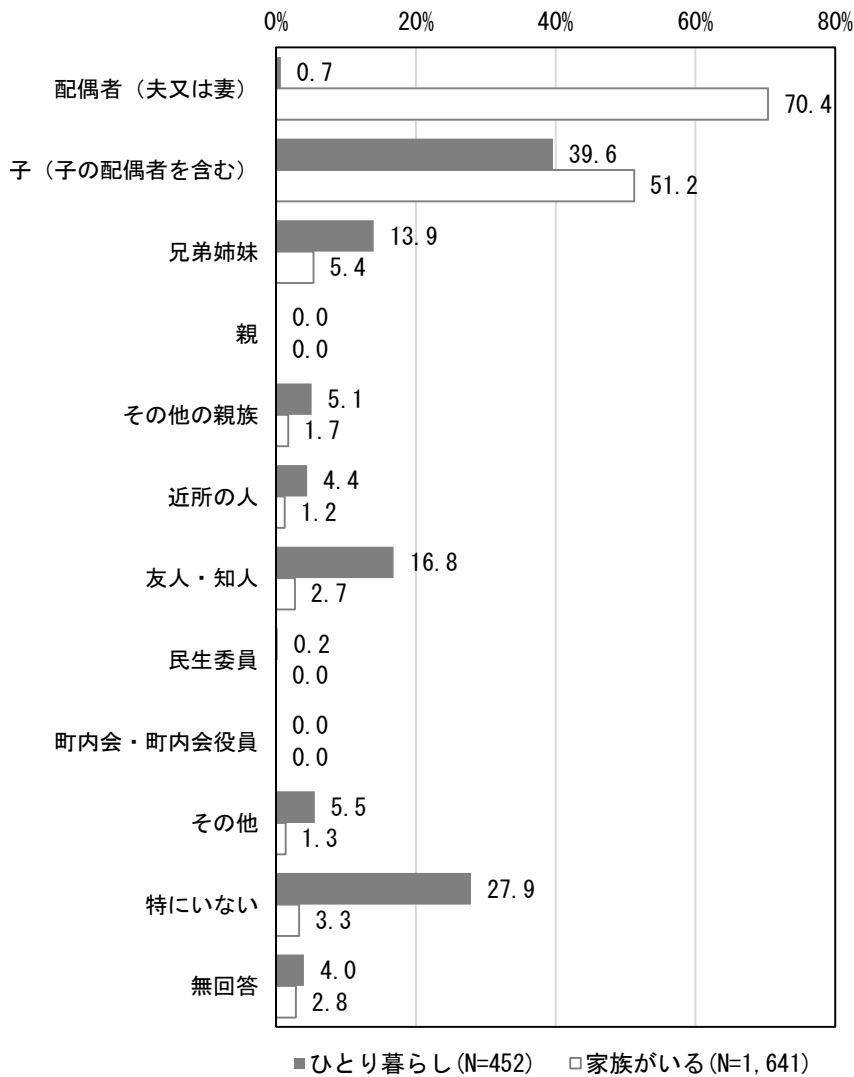
体調を崩したときに、買い物を頼む人についてたずねたところ、「配偶者（夫又は妻）」（55.2%）が最も多く、次いで、「子（子の配偶者を含む）」（48.7%）、「特にいない」（8.6%）となっている。

図表2-6-22 体調を崩したときに買い物を頼む相手



家族構成別にみると、「ひとり暮らし」と回答した人は「子（子の配偶者を含む）」（39.6%）、「特にいない」（27.9%）の順に高くなっており、「家族がいる」と回答した人は、「配偶者（夫又は妻）」（70.4%）、「子（子の配偶者を含む）」（51.2%）の順に高くなっている。

図表2-6-23 問6-8 体調を崩したときに買い物を頼む相手 × 問2-1 同居家族の有無  
【65歳以上】

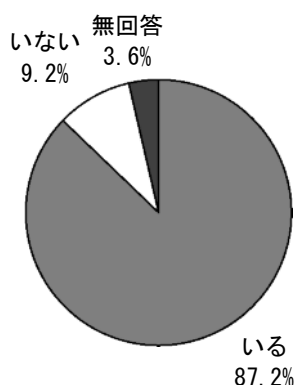


### 問6-9 預貯金の出し入れができなくなった場合に頼む相手

将来、自分で預貯金の出し入れができなくなった場合、頼める人はいますか。あてはまるものに○をつけてください。

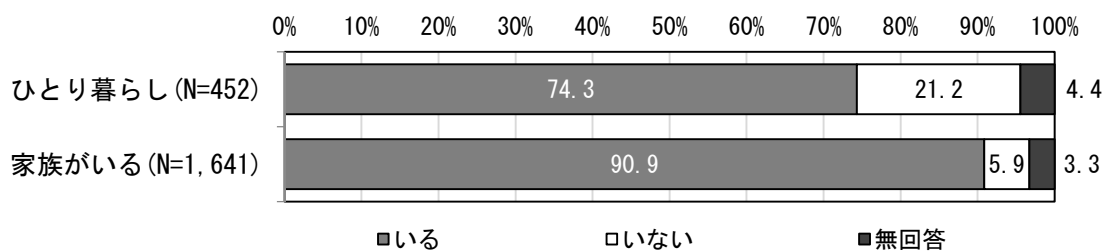
将来、自分で預貯金の出し入れができなくなった場合、頼める人がいるかについてたずねたところ、「いる」は87.2%、「いない」は9.2%となっている。

図表2-6-24 預貯金の出し入れができなくなった場合に頼む相手【65歳以上】  
(N=2,099)



家族構成別にみると、「いる」とする割合は、ひとり暮らしの人は、74.3%、家族がいる人は、90.9%となっている。

図表2-6-25 問6-9 預貯金の出し入れができなくなった場合に頼む相手 × 問2-1 同居家族の有無【65歳以上】



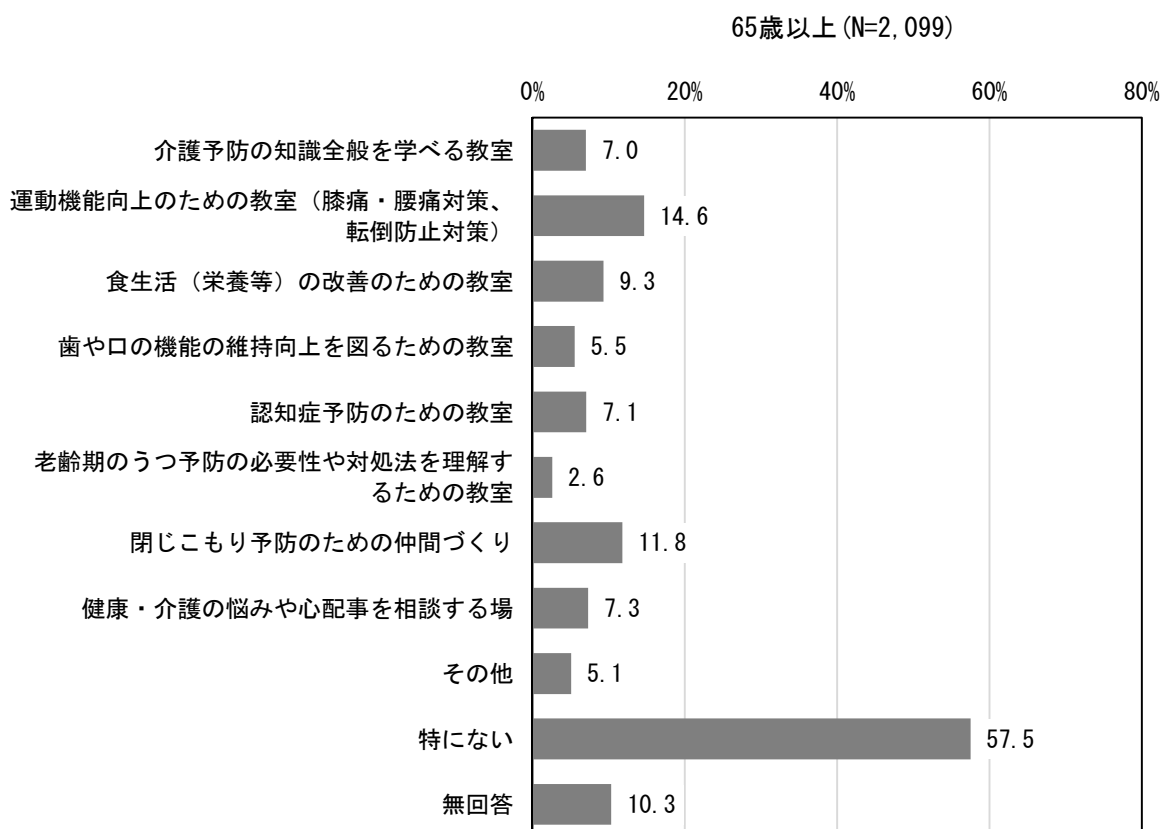
## 問6-10 介護予防のために利用しているもの

[複数回答]

「介護予防」とは、要介護状態にならないように取り組むこと、または、要介護状態であってもその悪化を防ぐよう取り組むことをいいます。あなたが、介護予防のために利用しているものについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

介護予防のために利用しているものについてたずねたところ、「運動機能向上のための教室（膝痛・腰痛対策、転倒防止対策）」（14.6%）が最も多く、次いで、「閉じこもり予防のための仲間づくり」（11.8%）、「食生活（栄養等）の改善のための教室」（9.3%）となっている。一方、「特にない」は57.5%となっている。

図表2-6-26 介護予防のために利用しているもの



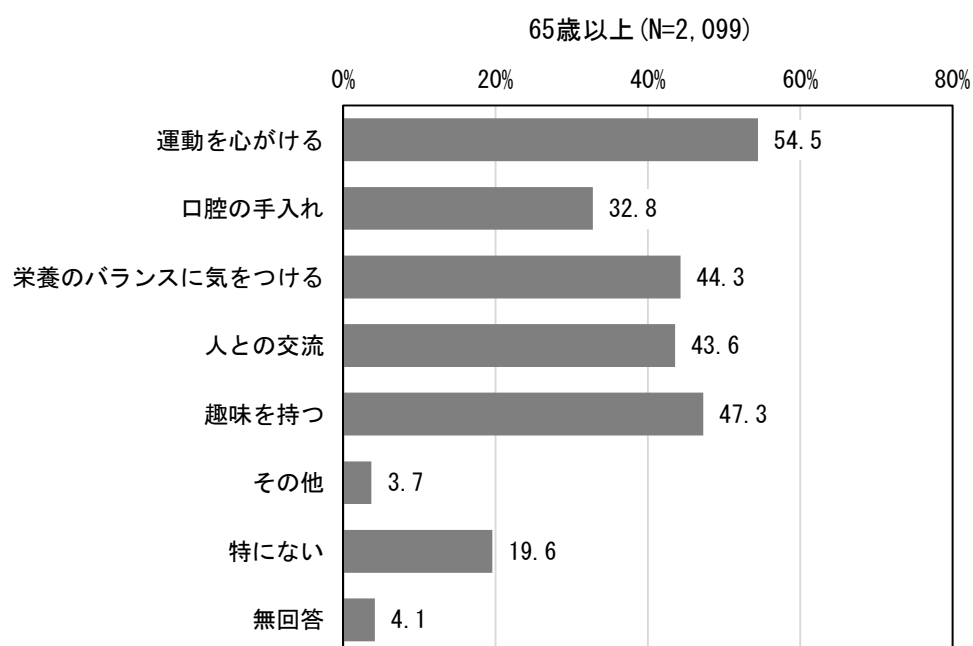
### 問6-11 認知症予防のために取り組んでいること

[複数回答]

あなたは、認知症予防のために取り組んでいることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

認知症予防のために取り組んでいることについてたずねたところ、「運動を心がける」(54.5%)が最も多く、次いで、「趣味を持つ」(47.3%)、「栄養のバランスに気をつける」(44.3%)となっている。

図表2-6-27 認知症予防のために取り組んでいること





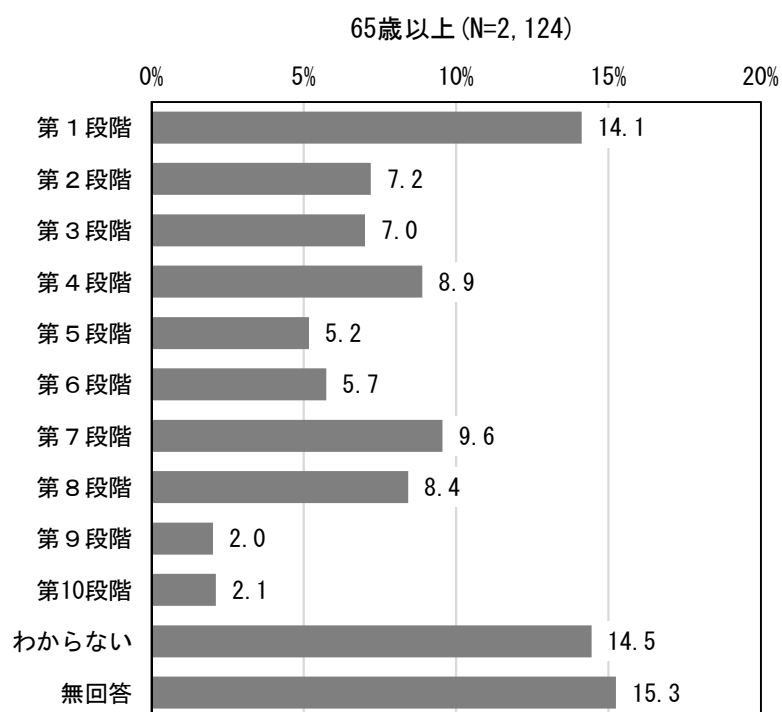
## 2. 7 介護保険について

### 問7-1 介護保険料段階【65歳以上のみ】

介護保険料の段階は何段階ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

介護保険料の段階についてたずねたところ、「第1段階」(14.1%)が最も多く、次いで、「第7段階」(9.6%)、「第4段階」(8.9%)となっている。

図表2-7-1 介護保険料段階

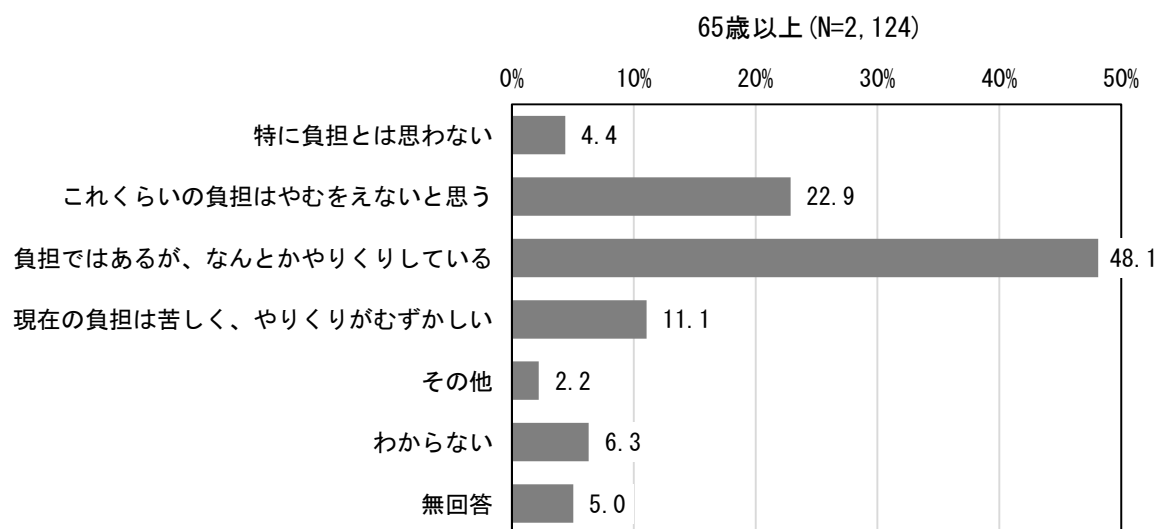


## 問7-2 介護保険料の負担感【65歳以上のみ】

あなたは、現在支払っている介護保険料について、どう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

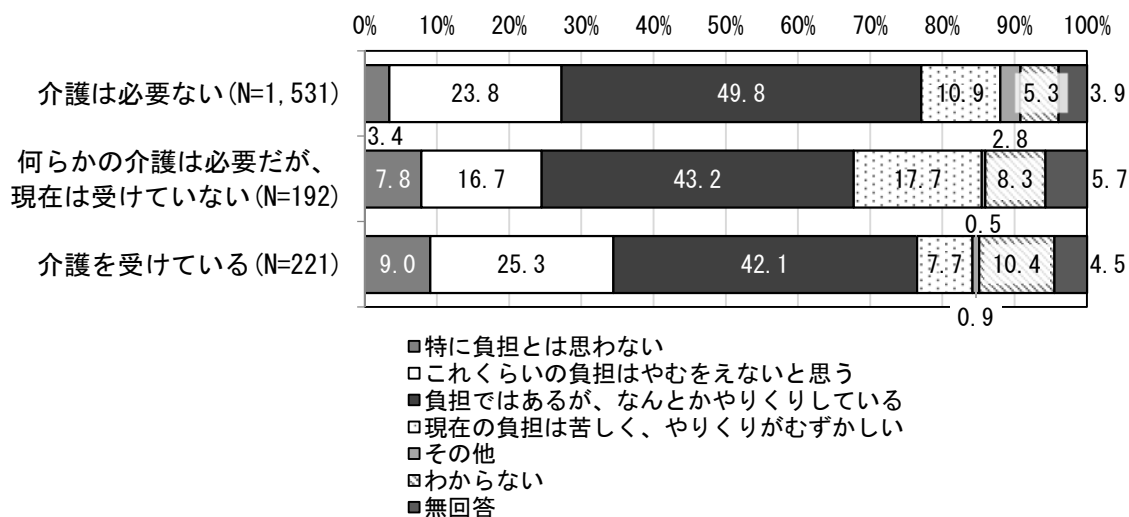
現在支払っている介護保険料の負担感についてたずねたところ、「負担ではあるが、なんとかやりくりしている」(48.1%)が最も多く、次いで、「これくらいの負担はやむをえないと思う」(22.9%)、「現在の負担は苦しく、やりくりがむずかしい」(11.1%)となっている。

図表2-7-2 介護保険料の負担感



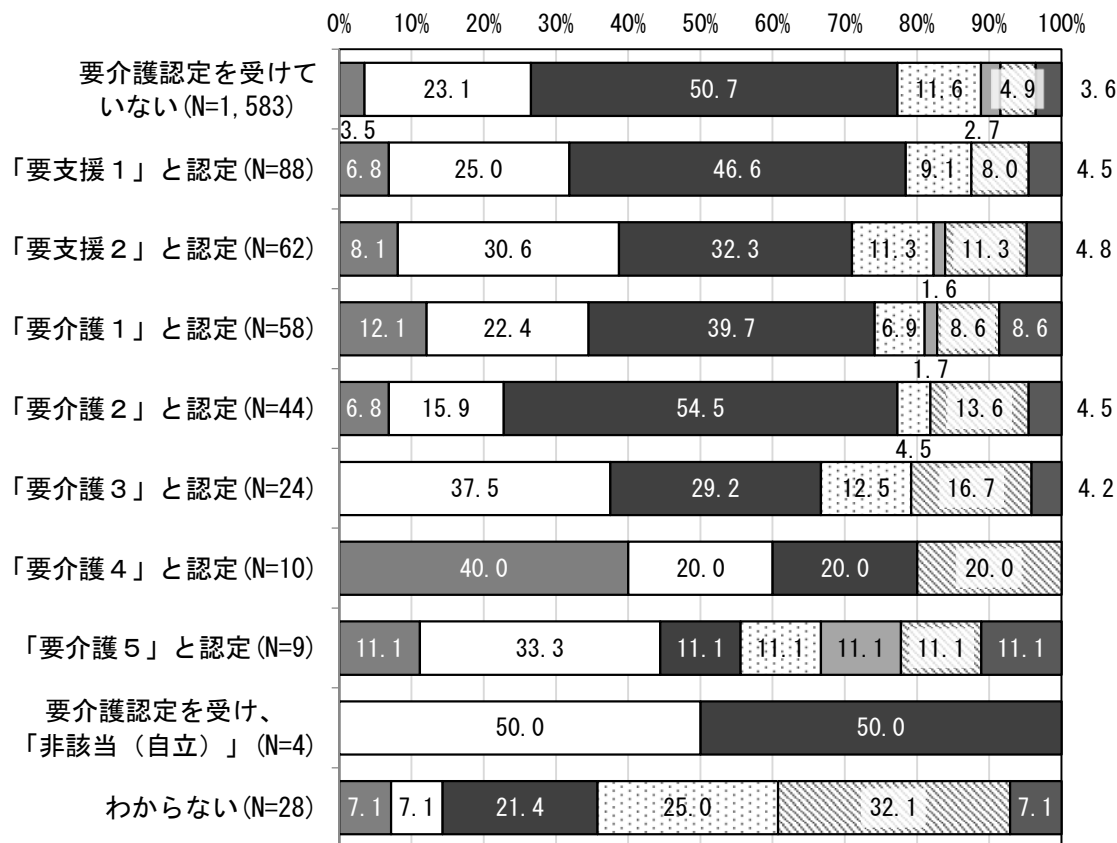
介護の状況別にみると、大きな差はみられないが、「介護を受けている」と回答した人は、「これくらいの負担はやむをえないと思う」とする割合が25.3%とやや高くなっている。

図表2-7-3 問7-2 介護保険料の負担感 × 問4-9 介護を受けているか【65歳以上】



要介護認定の状況別では、特に目立った傾向は見られない。

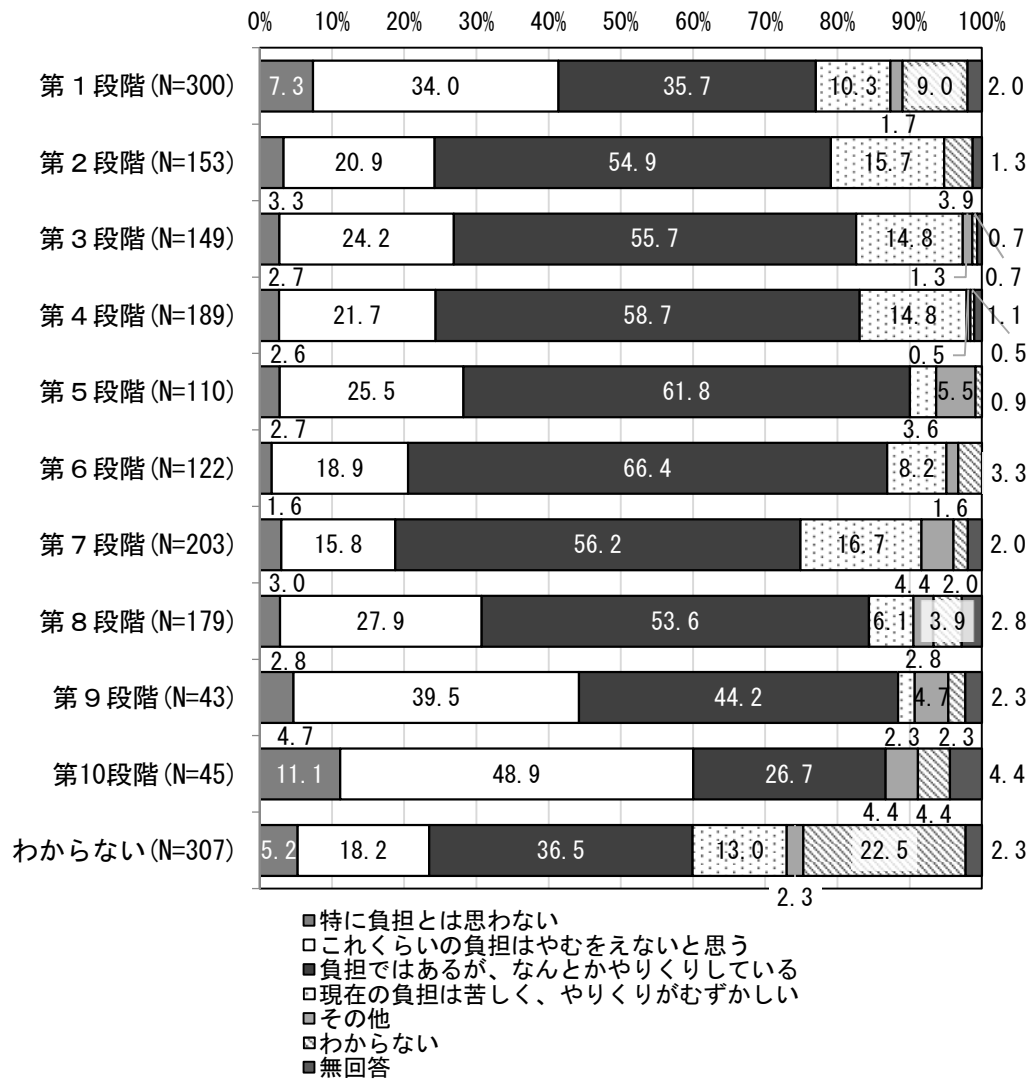
図表2-7-4 問7-2 介護保険料の負担感 × 問4-10 要介護認定を受けているか  
【65歳以上】



- 特に負担とは思わない
- これくらいの負担はやむをえないと思う
- 負担ではあるが、なんとかやりくりしている
- 現在の負担は苦しく、やりくりがむずかしい
- その他
- わからない
- 無回答

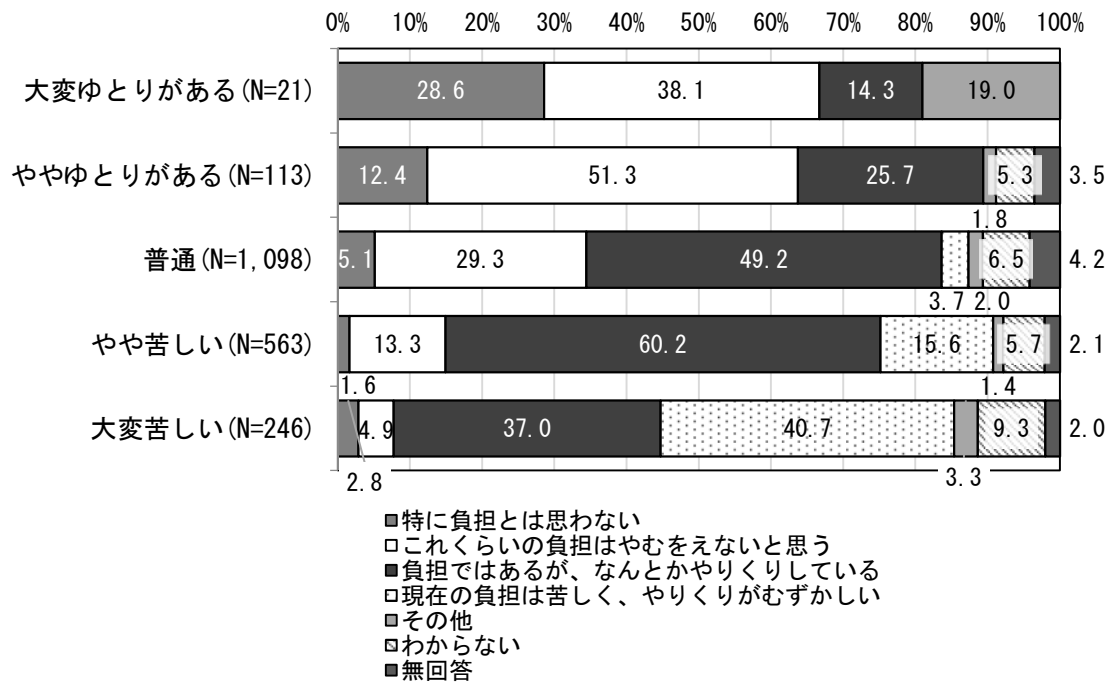
介護保険料の所得段階別に、「特に負担とは思わない」「これくらいの負担はやむをえないと思う」を合わせた割合をみると、第7段階以上は、所得段階が高くなるにつれその割合は高くなっており、「第10段階」と回答した人は、60.0%となっている。

図表2-7-5 問7-2 介護保険料の負担感 × 問7-1 介護保険料段階 【65歳以上】



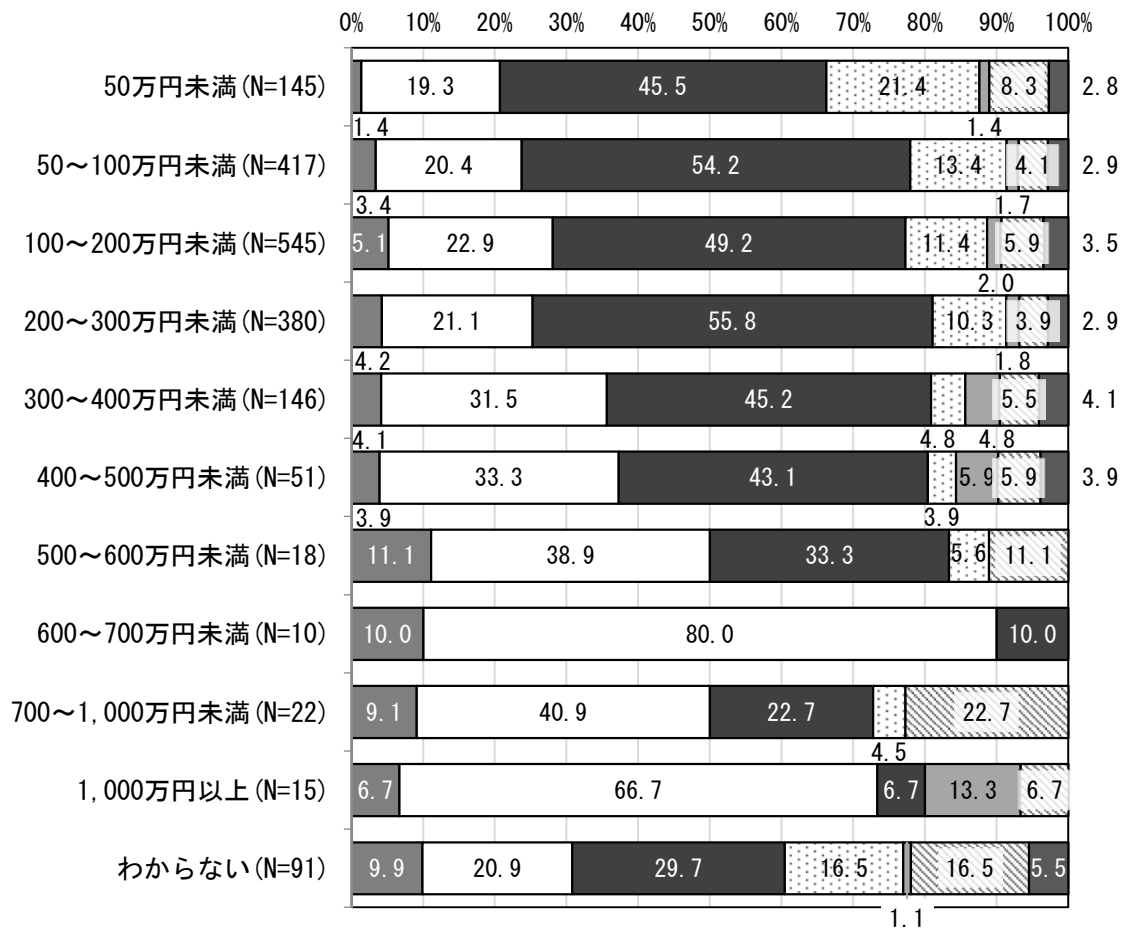
経済的ゆとり感別にみると、「特に負担とは思わない」とする割合は、「大変ゆとりがある」と回答した人が28.6%と高くなっている一方で、「現在の負担は苦しく、やりくりがむずかしい」とする割合は、「大変苦しい」と回答した人が40.7%と高くなっている。

図表2-7-6 問7-2 介護保険料の負担感 × 問8-1 経済的ゆとり感 【65歳以上】



個人の年収別に、「特に負担とは思わない」「これくらいの負担はやむをえないと思う」を合わせた割合をみると、年収が高いほど、その割合は高くなっている。

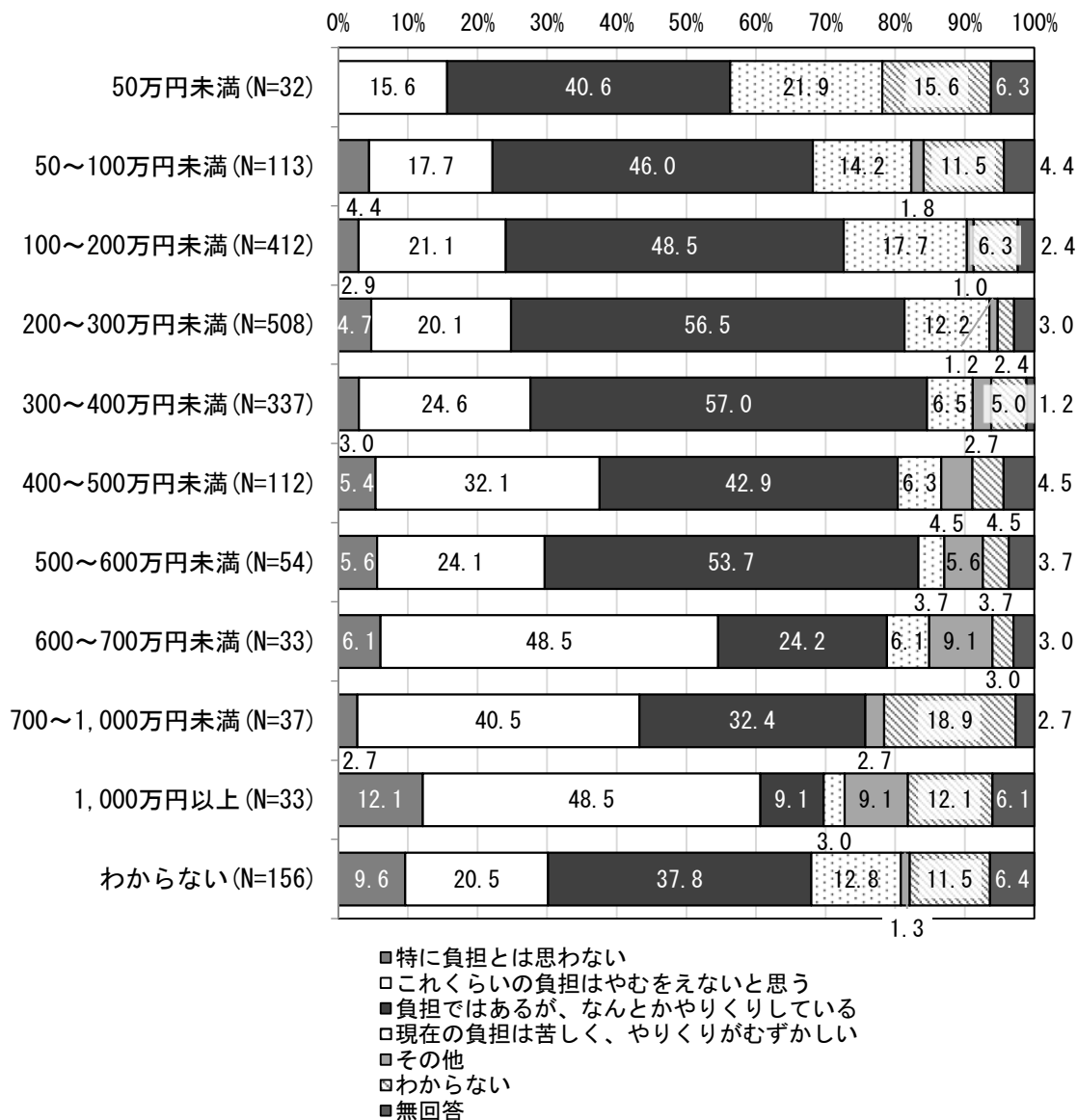
図表2-7-7 問7-2 介護保険料の負担感 × 問8-3(1) 個人の収入 【65歳以上】



- 特に負担とは思わない
- これくらいの負担はやむをえないと思う
- 負担ではあるが、なんとかやりくりしている
- 現在の負担は苦しく、やりくりがむずかしい
- その他
- わからない
- 無回答

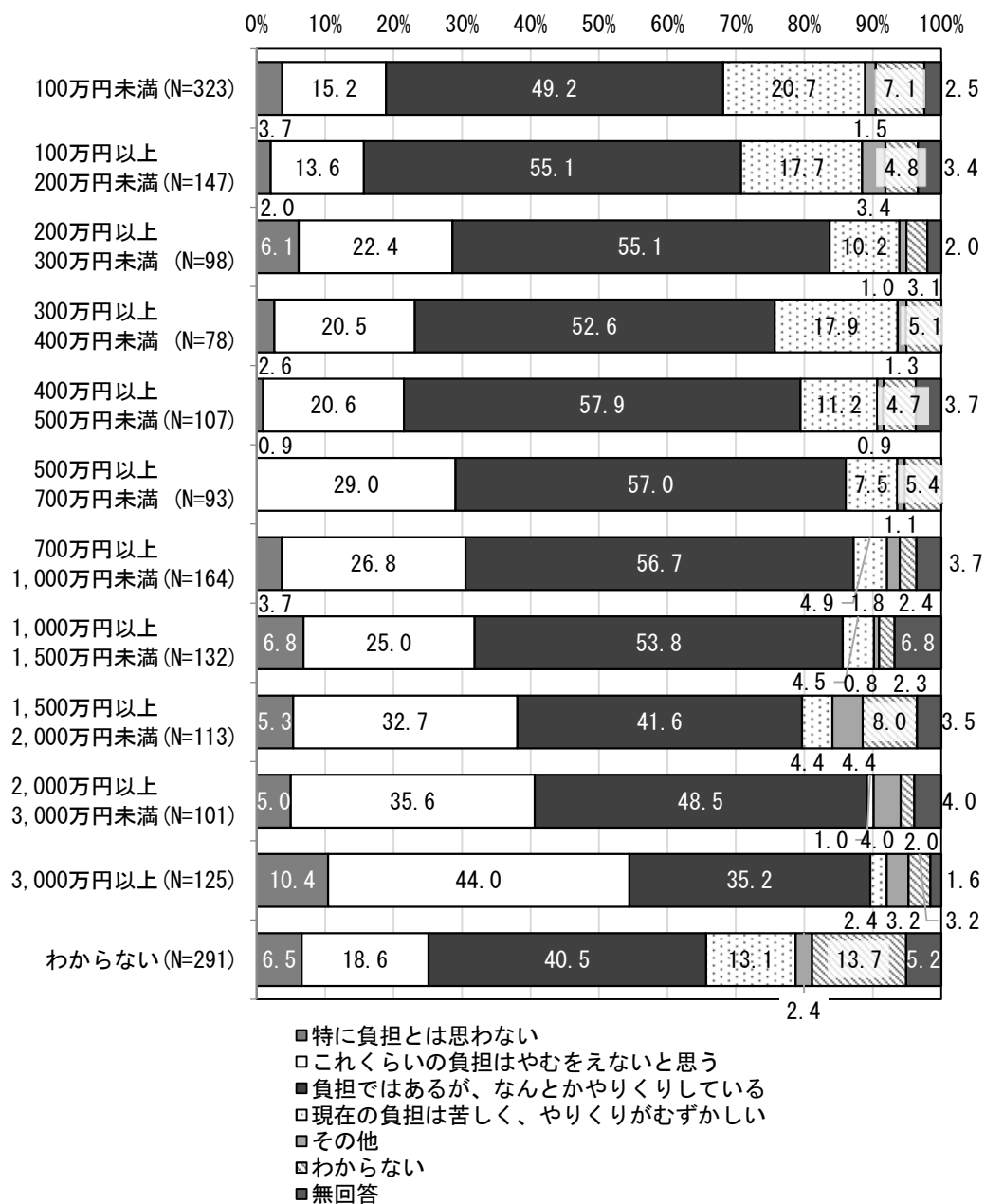
世帯全体の年収別にみると、個人の年収別と同様に、「特に負担とは思わない」「これくらいの負担はやむをえないと思う」を合わせた割合は、世帯収入が高いほど、その割合は高くなっている。

図表2-7-8 問7-2 介護保険料の負担感 × 問8-3(2) 世帯収入 【65歳以上】



世帯全体の貯蓄額別にみると、「特に負担とは思わない」「これくらいの負担はやむをえないと思う」を合わせた割合は、世帯貯蓄額が高いほど、その割合は高い傾向にある。

図表2-7-9 問7-2 介護保険料の負担感 × 問8-5 世帯貯蓄額 【65歳以上】



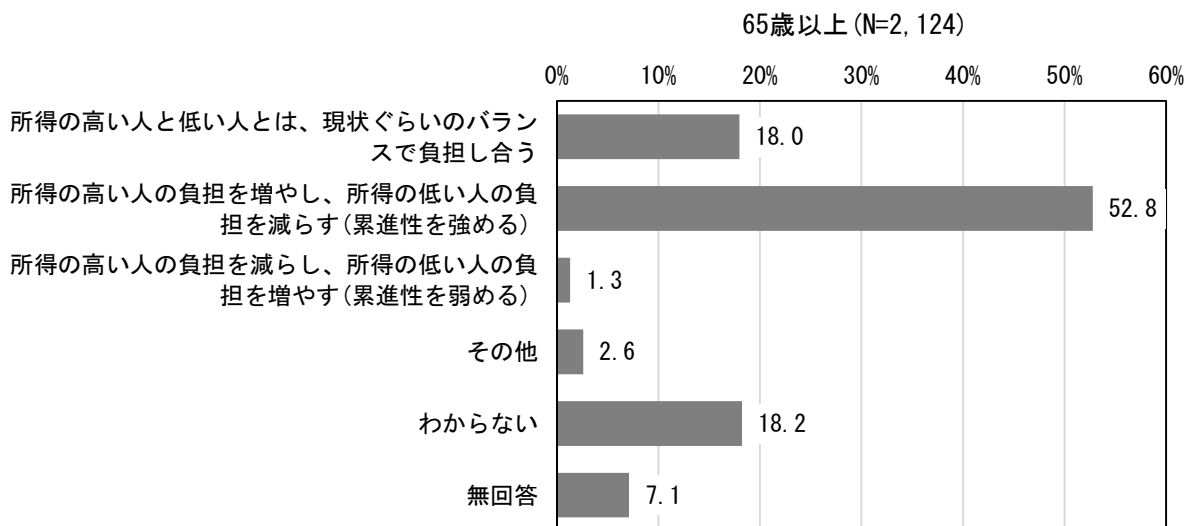


### 問7-3 介護保険料の負担のあり方【65歳以上のみ】

あなたは、今後の介護保険料の負担はどうあるべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

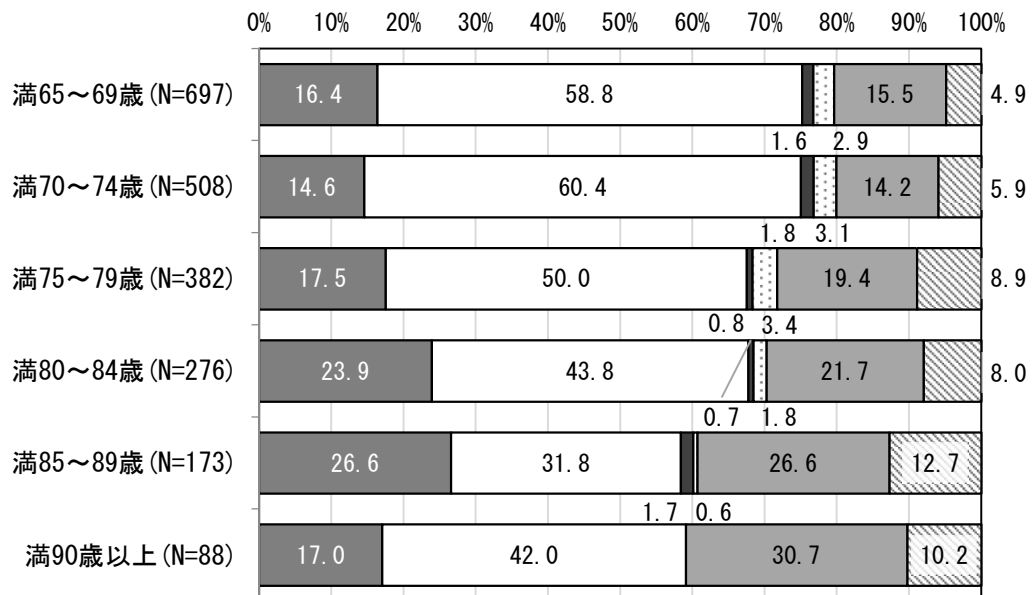
今後の介護保険料の負担のあり方についてたずねたところ、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす(累進性を強める)」(52.8%)が最も多く、次いで、「所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う」(18.0%)となっている。

図表2-7-10 介護保険料の負担のあり方



年齢別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」とする割合は、満70～74歳が最も高く、60.4%となっており、次いで、満65～69歳(58.8%)、満75～79歳(50.0%)となっている。

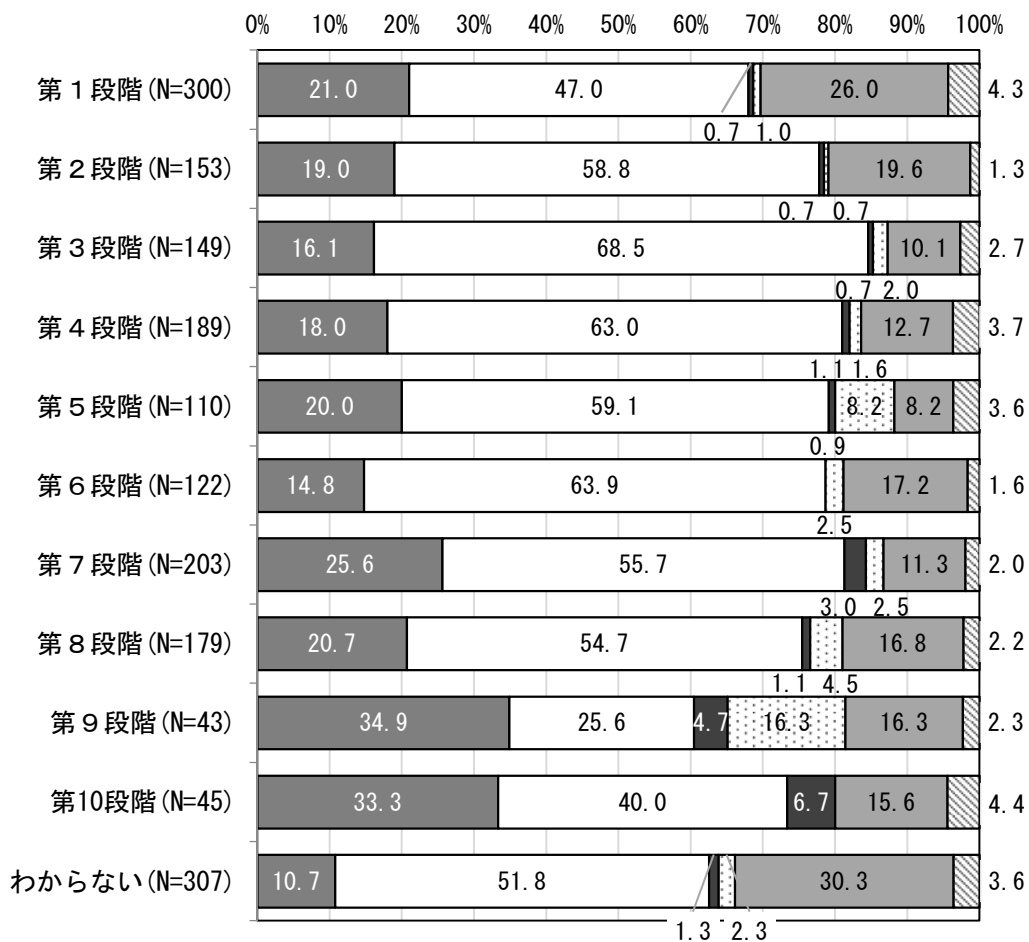
図表2-7-11 問7-3 介護保険料の負担のあり方 × 問1-2 年齢【65歳以上】



- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす(累進性を強める)
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす(累進性を弱める)
- その他
- わからない
- 無回答

介護保険料の所得段階別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」とする割合は、第3段階が最も高く、68.5%となっており、次いで、第6段階(63.9%)、第4段階(63.0%)となっている。

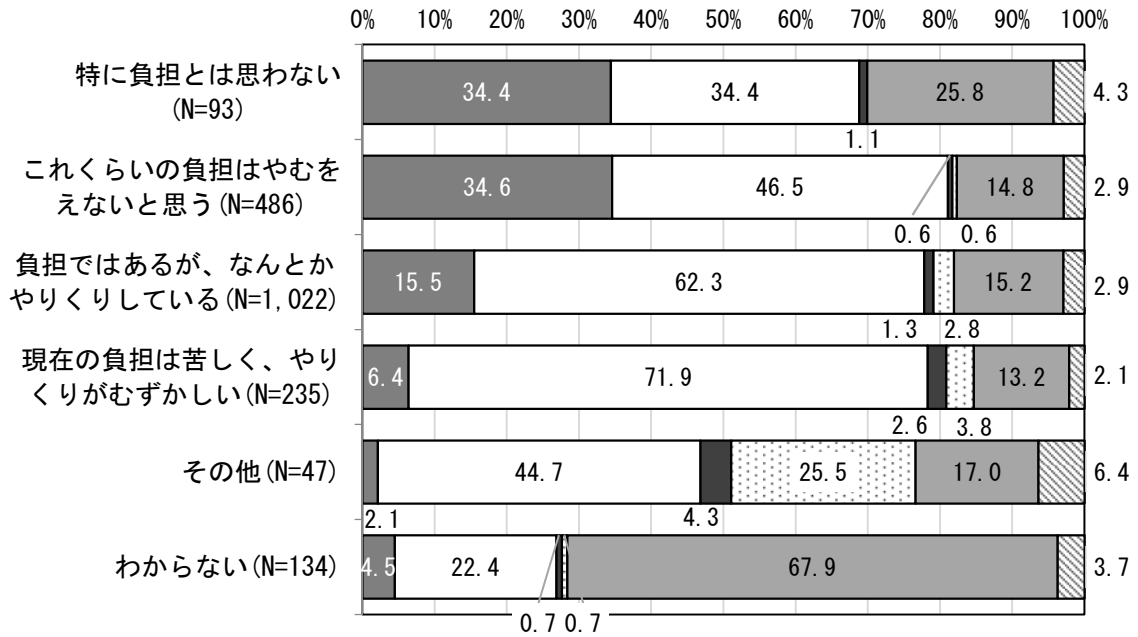
図表2-7-12 問7-3 介護保険料の負担のあり方 × 問7-1 介護保険料段階 【65歳以上】



- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす(累進性を強める)
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす(累進性を弱める)
- その他
- わからない
- 無回答

介護保険料の負担感別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」とする割合は、「現在の負担は苦しく、やりくりがむずかしい」と回答した人が最も高く、71.9%となっている。

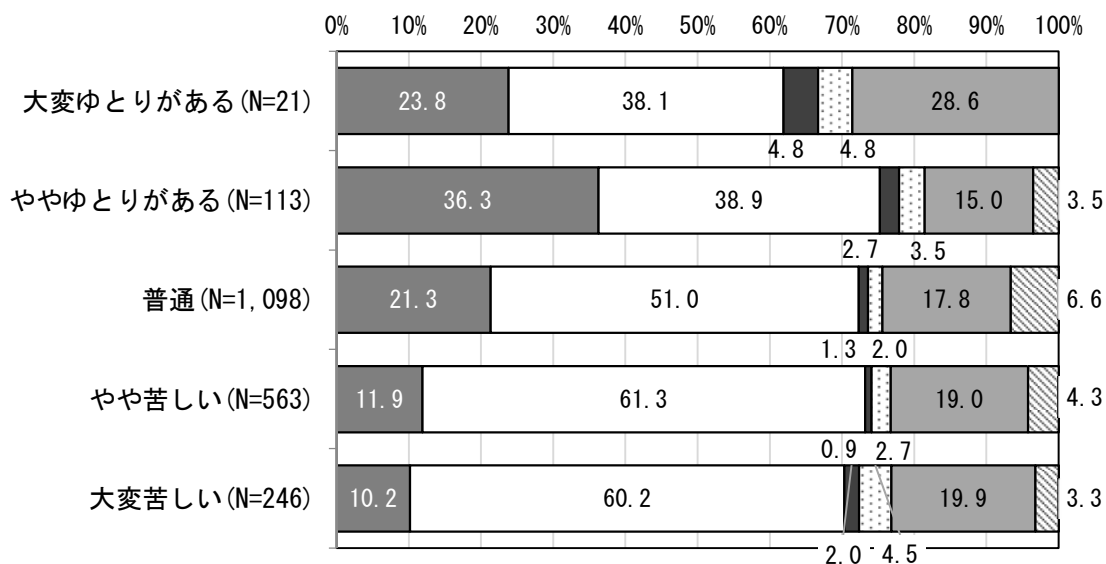
図表2-7-13 問7-3 介護保険料の負担のあり方 × 問7-2 介護保険料の負担感  
【65歳以上】



- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす（累進性を弱める）
- その他
- わからない
- 無回答

現在の生活のゆとり感別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」とする割合は、「やや苦しい」と回答した人が最も高く61.3%となっており、次いで、「大変苦しい」（60.2%）となっている。

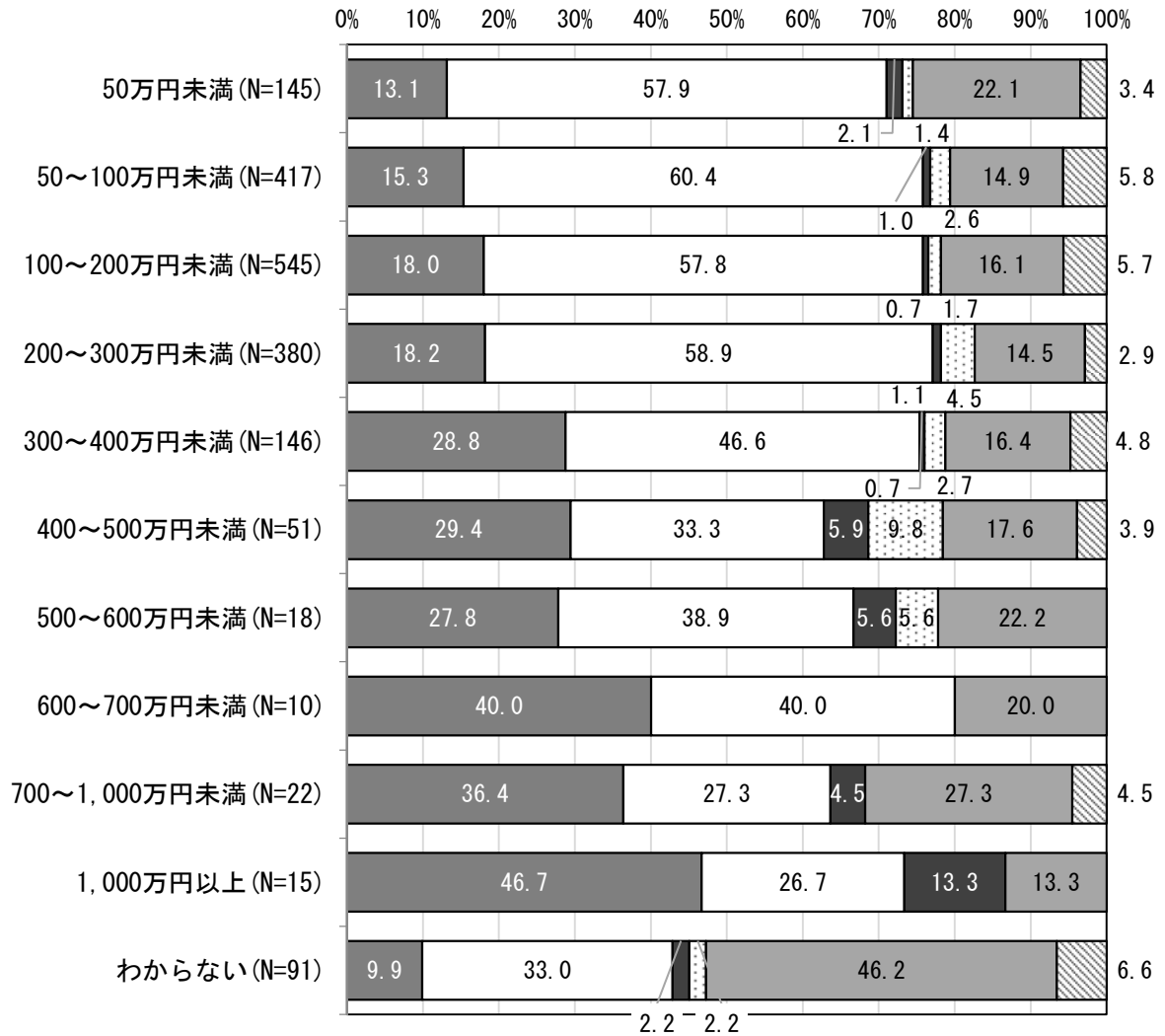
図表2-7-14 問7-3 介護保険料の負担のあり方 × 問8-1 経済的ゆとり感 【65歳以上】



- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす(累進性を強める)
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす(累進性を弱める)
- その他
- わからない
- 無回答

個人の年収別にみると、年収が高い人ほど、「所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う」とする割合が高くなる傾向にある。

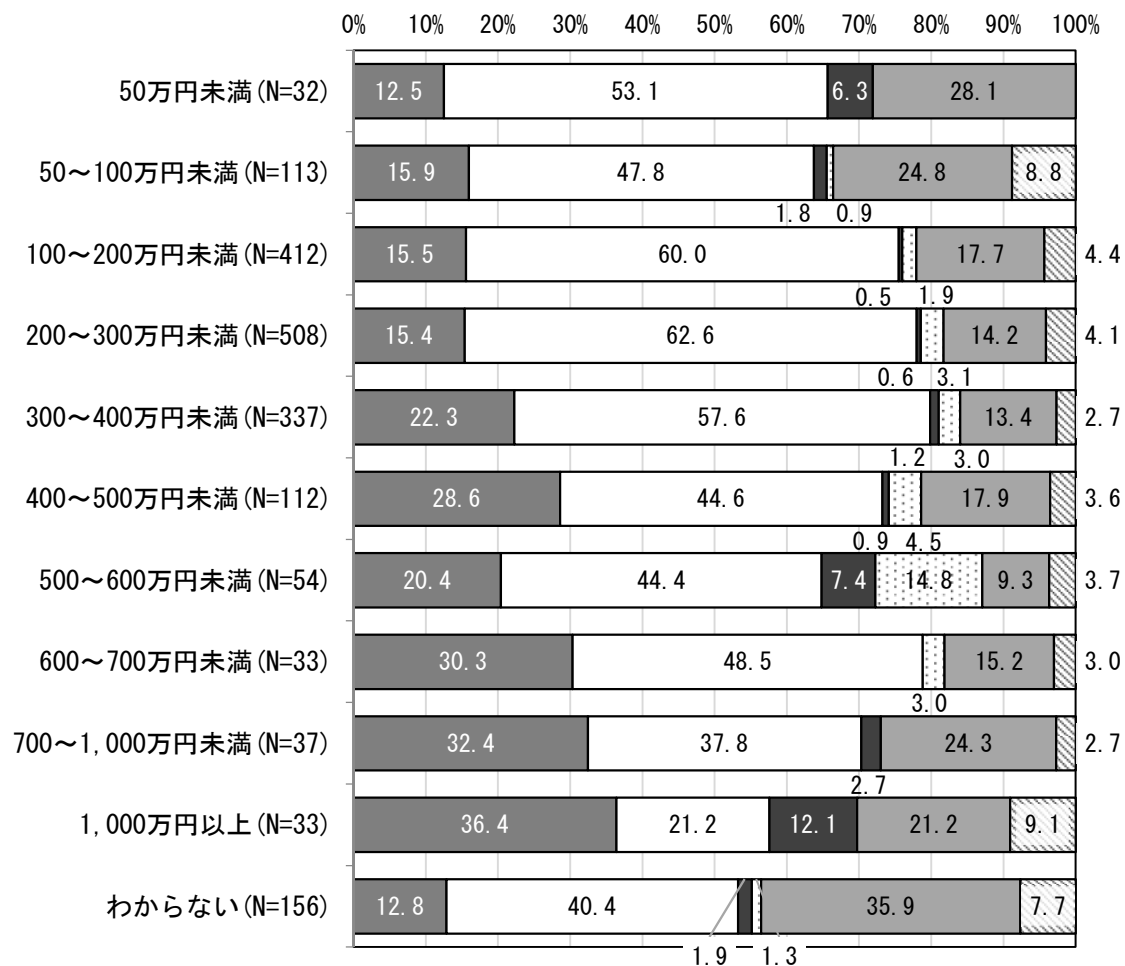
図表2-7-15 問7-3 介護保険料の負担のあり方 × 問8-3(1) 個人の収入 【65歳以上】



- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす (累進性を強める)
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす (累進性を弱める)
- その他
- わからない
- 無回答

世帯全体の年収別にみると、個人の年収別と同様に、世帯収入が高い人ほど、「所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う」とする割合が高くなる傾向にある。

図表2-7-16 問7-3 介護保険料の負担のあり方 × 問8-3(2) 世帯収入 【65歳以上】



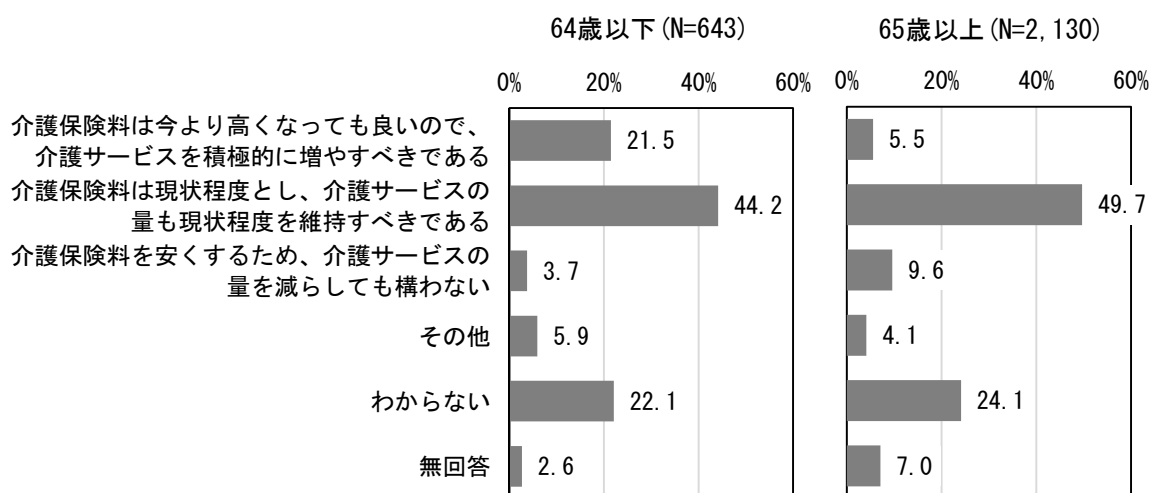
- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす(累進性を強める)
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす(累進性を弱める)
- その他
- わからない
- 無回答

## 問7-4 介護サービスと保険料の関係

介護保険では、介護サービスを充実させることで、介護保険料が上がりますが、介護サービスと保険料の関係について、あなたはどのように考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

介護保険料と介護サービスの関連についてたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである」が最も多く、64歳以下は44.2%、65歳以上は49.7%となっている。次いで、64歳以下は「介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである」(21.5%)となっており、65歳以上は、「介護保険料を安くするため、介護サービスの量を減らしても構わない」(9.6%)となっている。

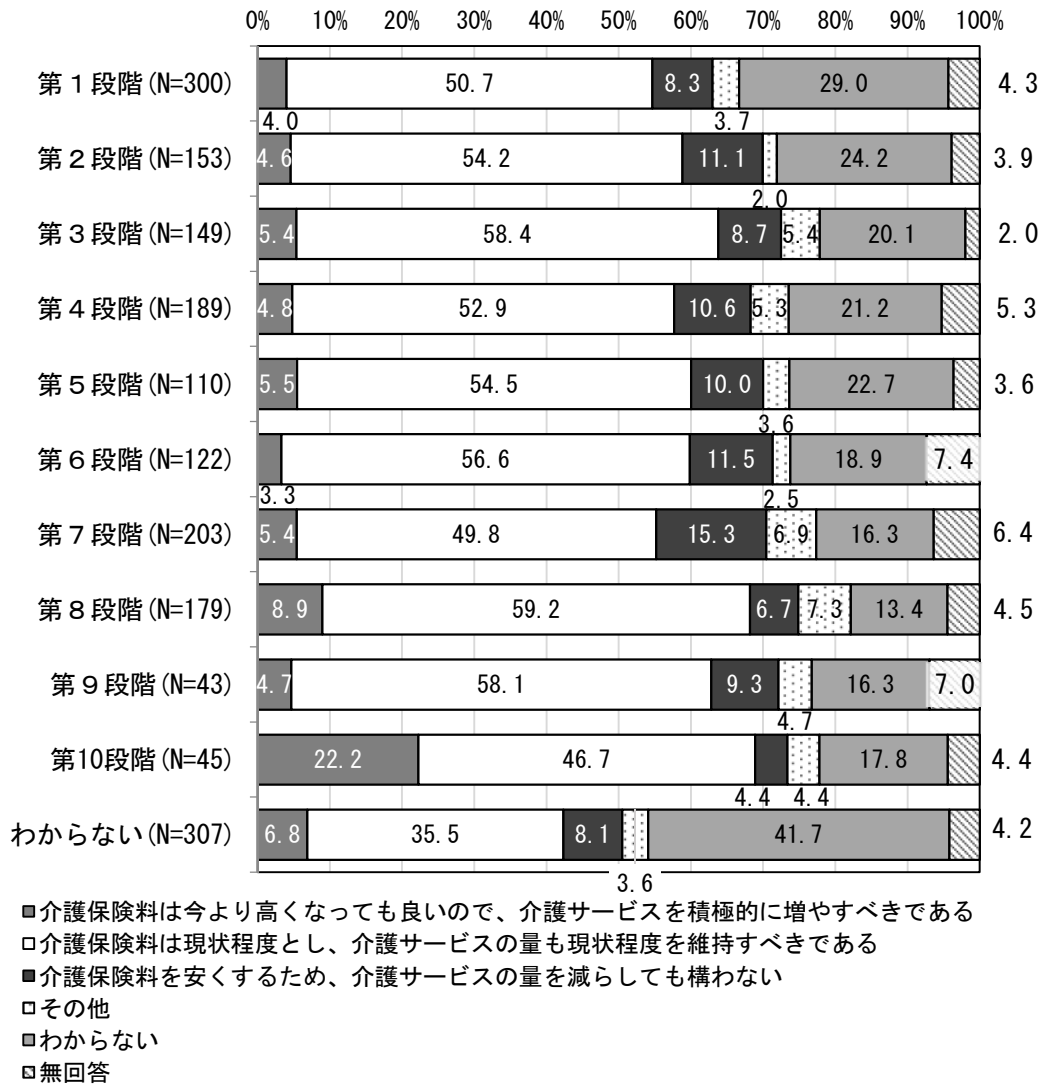
図表2-7-17 介護サービスと保険料の関係





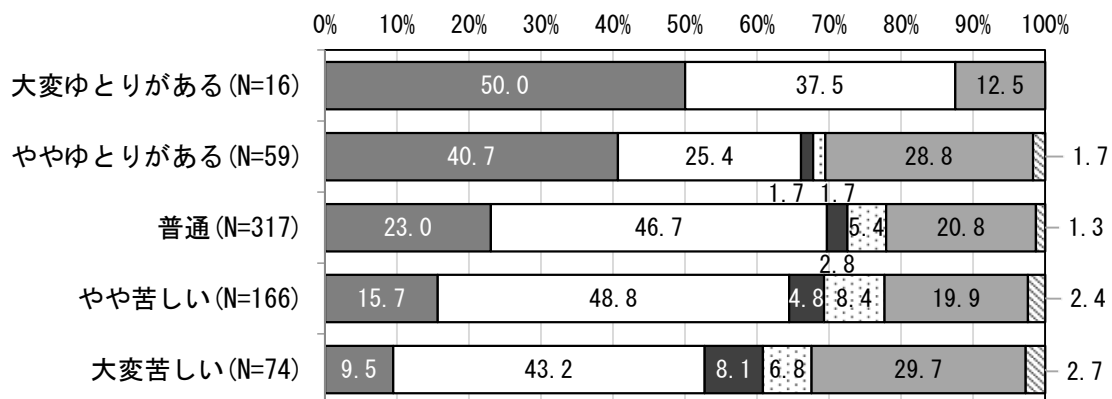
介護保険料の所得段階別に、「介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである」とする割合をみると、「第10段階」と回答した人は22.2%と最も高くなっている。

図表2-7-18 問7-4 介護サービスと保険料の関係 × 問7-1 介護保険料段階 【65歳以上】

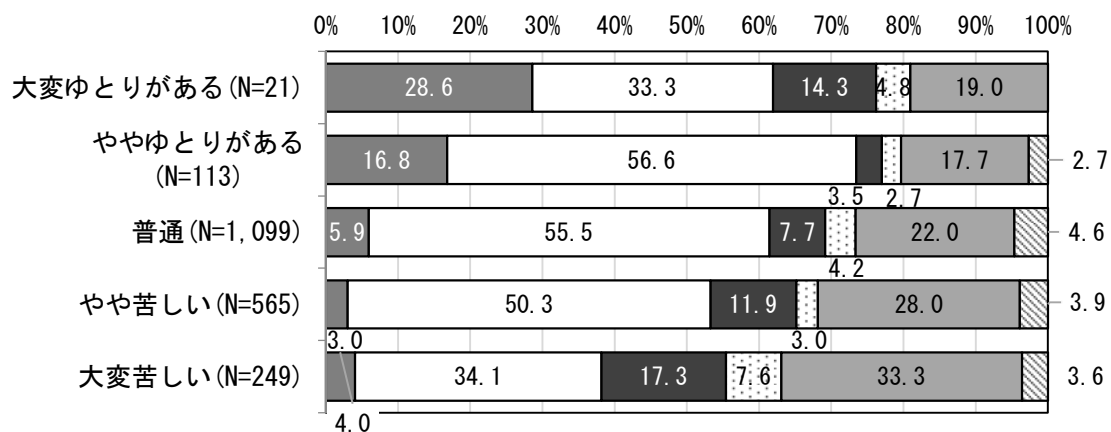


経済的ゆとり感別にみると、「介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである」とする割合は、64歳以下・65歳以上共に、「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」と回答した人が高い傾向にある一方、「大変苦しい」と回答した人は、64歳以下は9.5%、65歳以上は4.0%と低くなっている。

図表2-7-19 問7-4 介護サービスと保険料の関係 × 問8-1 経済的ゆとり感 【64歳以下】



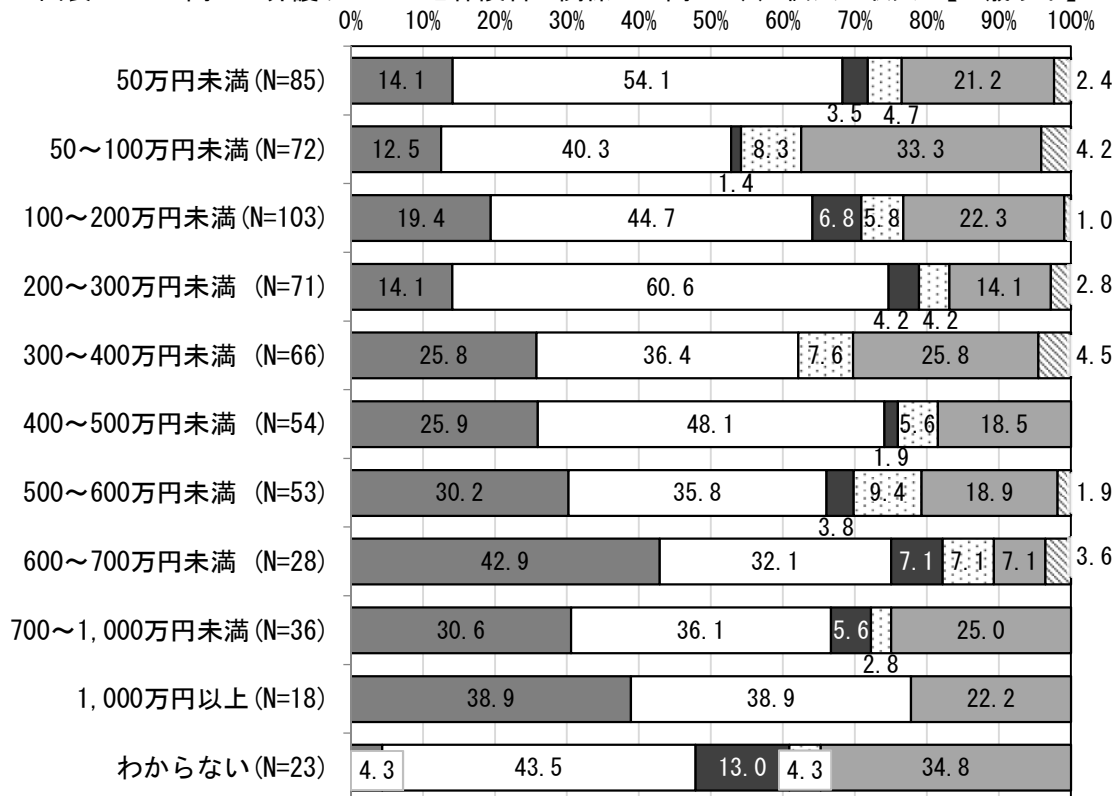
図表2-7-20 問7-4 介護サービスと保険料の関係 × 問8-1 経済的ゆとり感 【65歳以上】



- 介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである
- 介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである
- 介護保険料を安くするため、介護サービスの量を減らしても構わない
- その他
- わからない
- 無回答

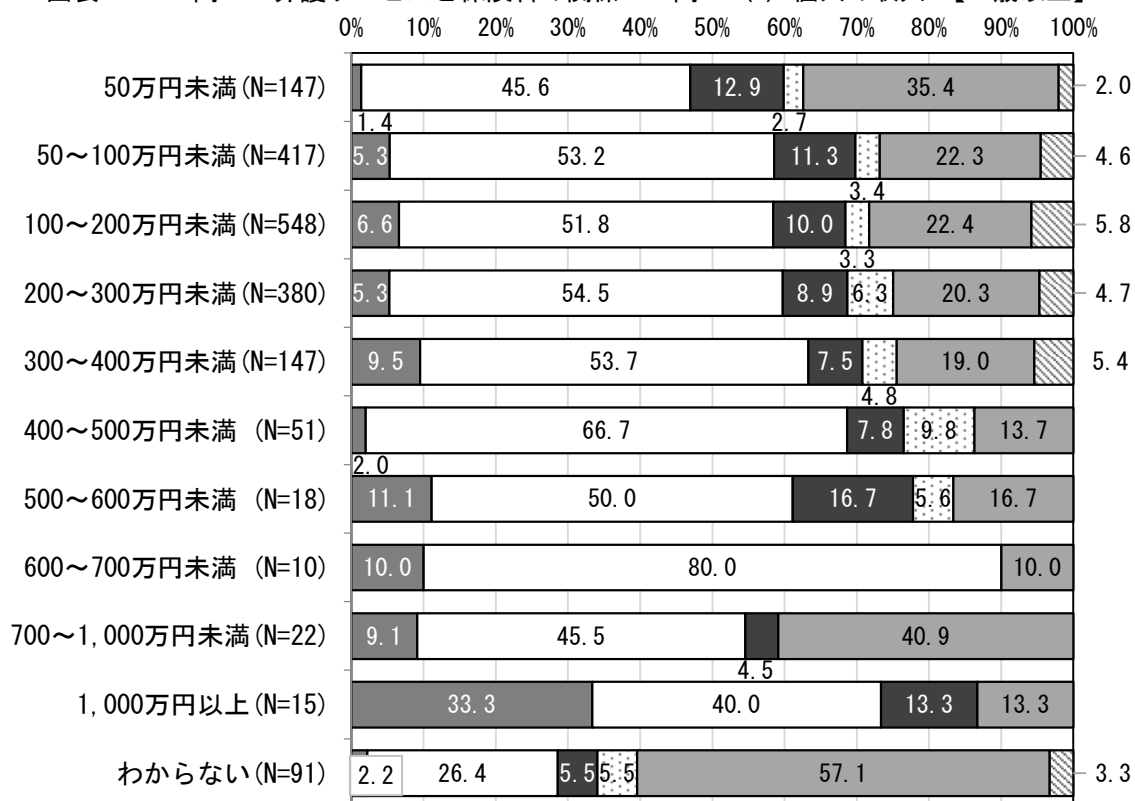
個人の年収別に、「介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである」とする割合をみると、64歳以下は「600～700万円未満」が42.9%と最も高くなっており、65歳以上は、「1,000万円以上」が33.3%と最も高くなっている。

図表2-7-21 問7-4 介護サービスと保険料の関係 × 問8-3(1) 個人の収入 【64歳以下】



- 介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである
- 介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである
- 介護保険料を安くするため、介護サービスの量を減らしても構わない
- その他
- わからない
- 無回答

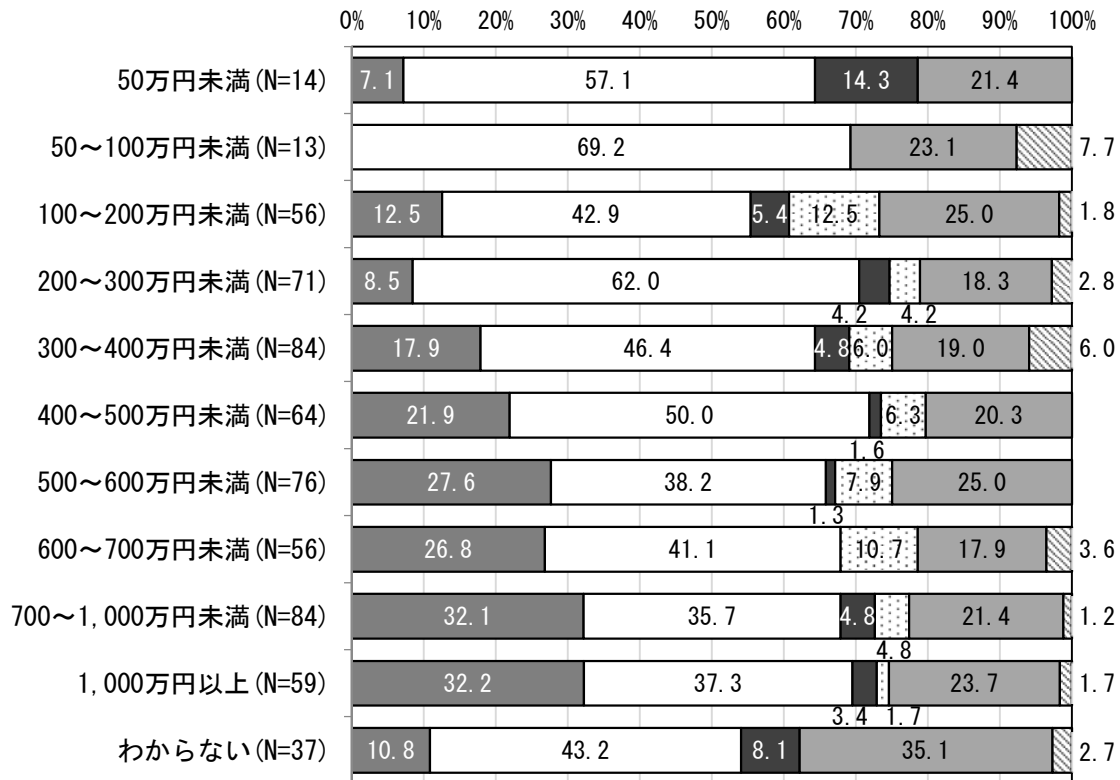
図表2-7-22 問7-4 介護サービスと保険料の関係 × 問8-3(1) 個人の収入 【65歳以上】



- 介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである
- 介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである
- 介護保険料を安くするため、介護サービスの量を減らしても構わない
- その他
- わからない
- 無回答

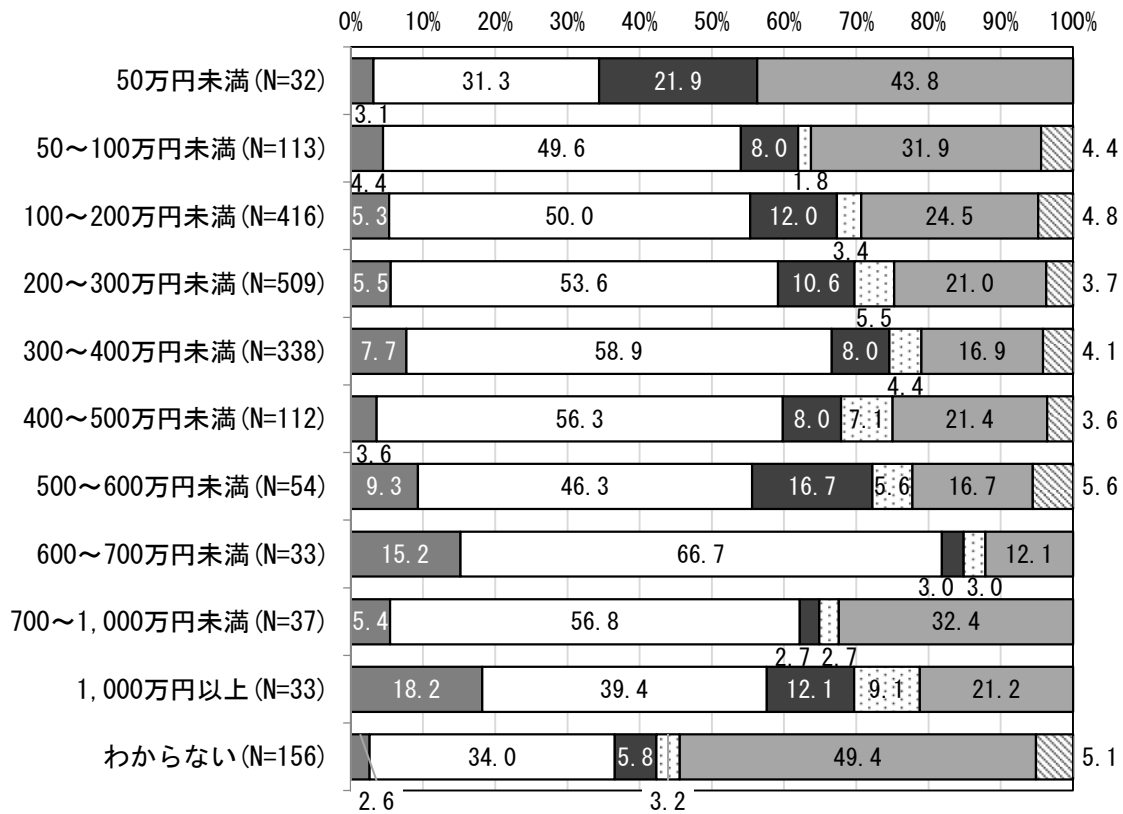
世帯全体の年収別にみると、64歳以下は、世帯収入が高い人ほど、「介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである」とする割合は高くなる傾向にあり、65歳以上は、「介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである」とする割合は、「600～700万円未満」が最も高く、66.7%となっている。

図表2-7-23 問7-4 介護サービスと保険料の関係 × 問8-3(2) 世帯収入 【64歳以下】



- 介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである
- 介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである
- 介護保険料を安くするため、介護サービスの量を減らしても構わない
- その他
- わからない
- 無回答

図表2-7-24 問7-4 介護サービスと保険料の関係 × 問8-3(2) 世帯収入 【65歳以上】



- 介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである
- 介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである
- 介護保険料を安くするため、介護サービスの量を減らしても構わない
- その他
- わからない
- 無回答

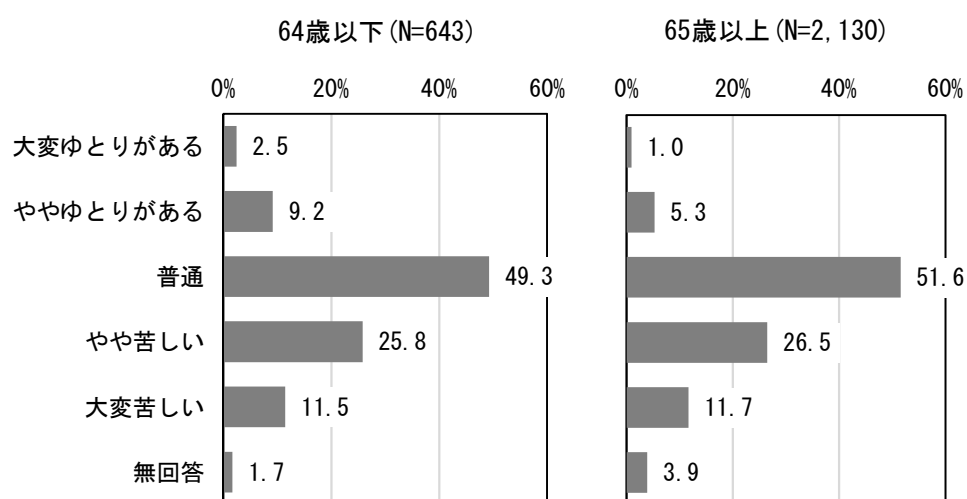
## 2. 8 経済生活について

### 問8-1 経済的ゆとり感

あなたの現在の暮らしは、経済的にゆとりはありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

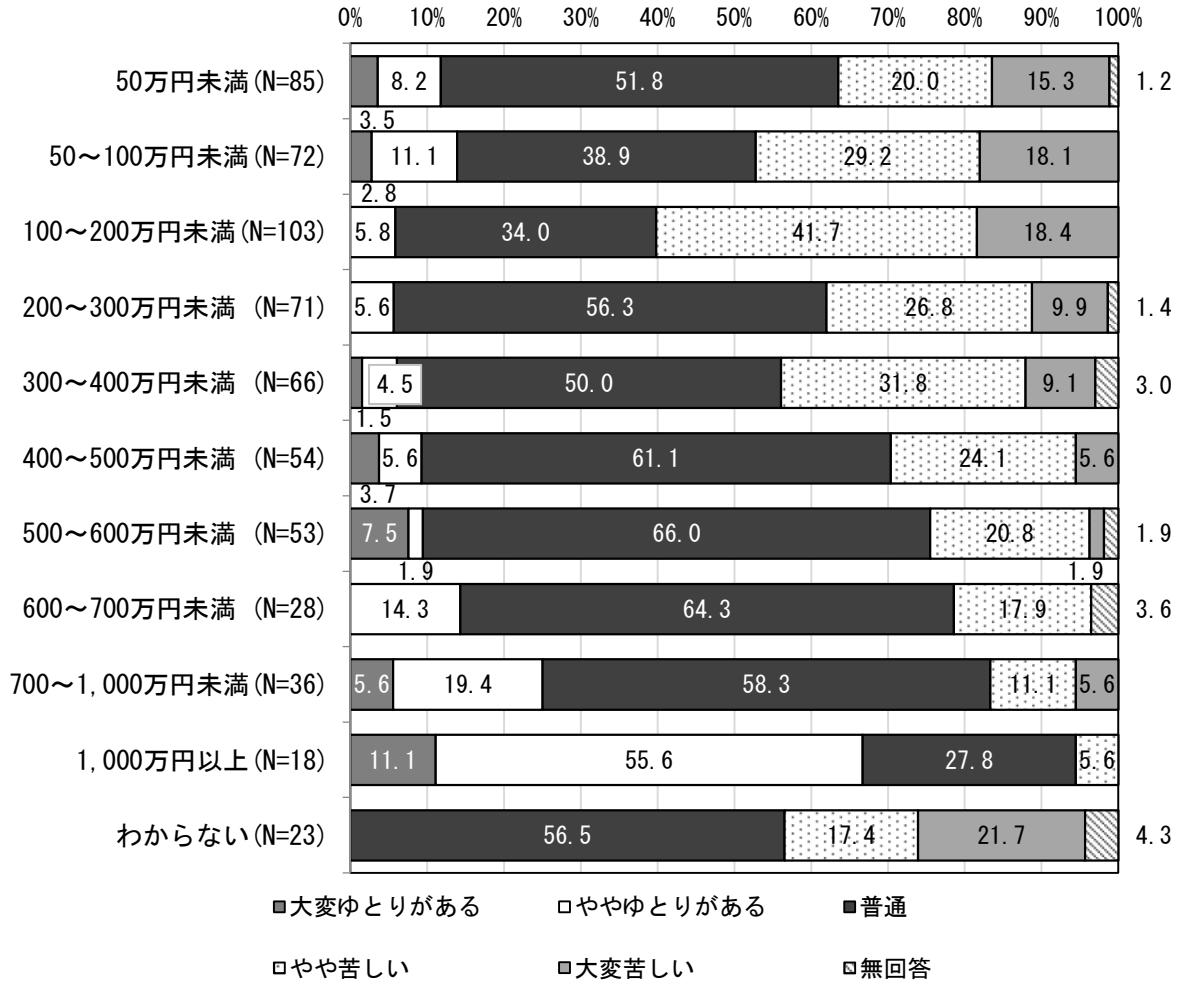
現在の暮らしは、経済的にゆとりがあるかについてたずねたところ、「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた割合が、64歳以下は11.7%、65歳以上は6.3%となっている。一方、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた割合は、64歳以下は37.3%、65歳以上は38.2%となっている。

図表2-8-1 経済的ゆとり感



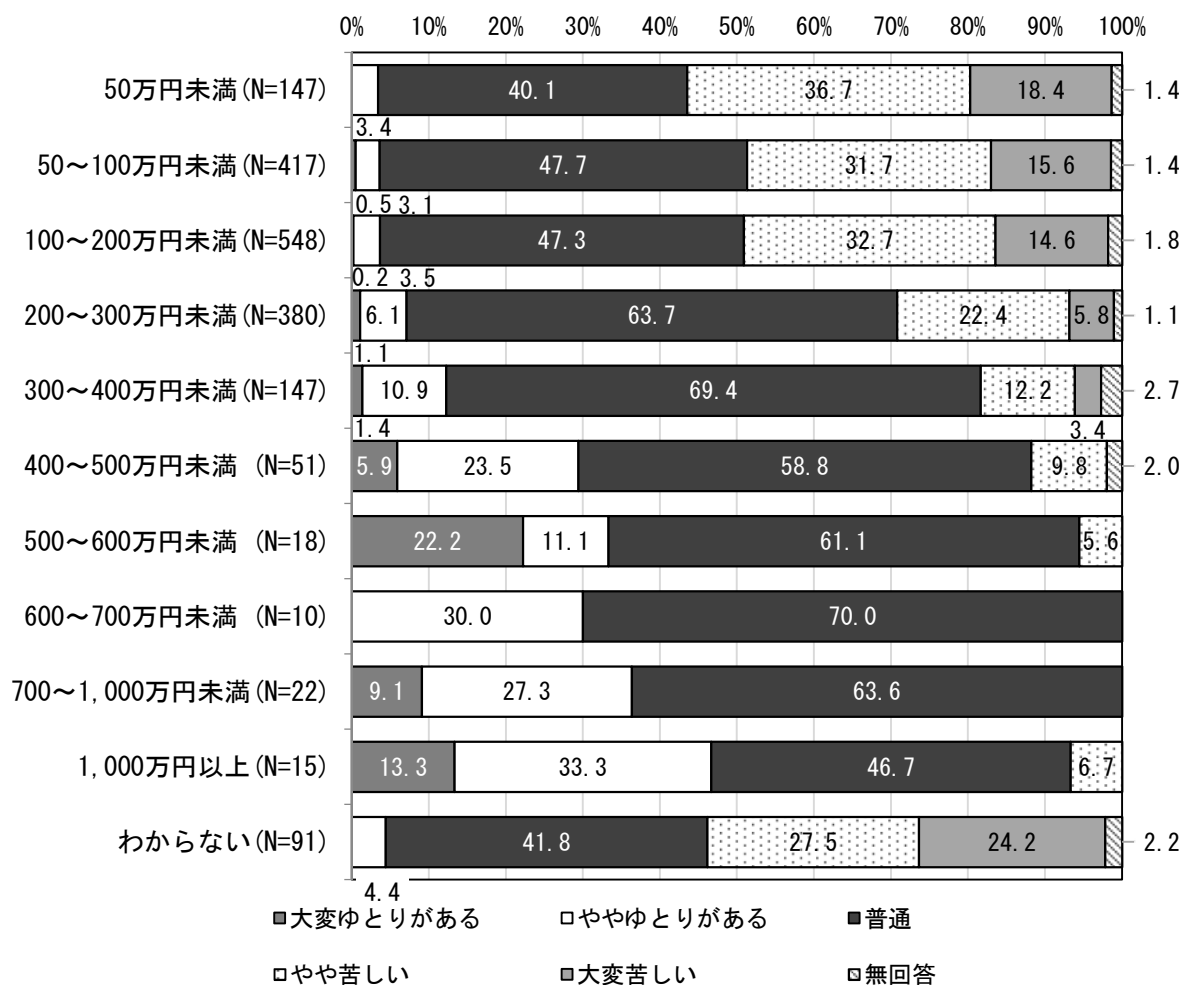
個人の収入別に、「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた割合をみると、64歳以下・65歳以上共に、年収が高い人ほどその割合が高くなる傾向がある。

図表2-8-2 問8-1 経済的ゆとり感 × 問8-3(1) 個人の収入 【64歳以下】



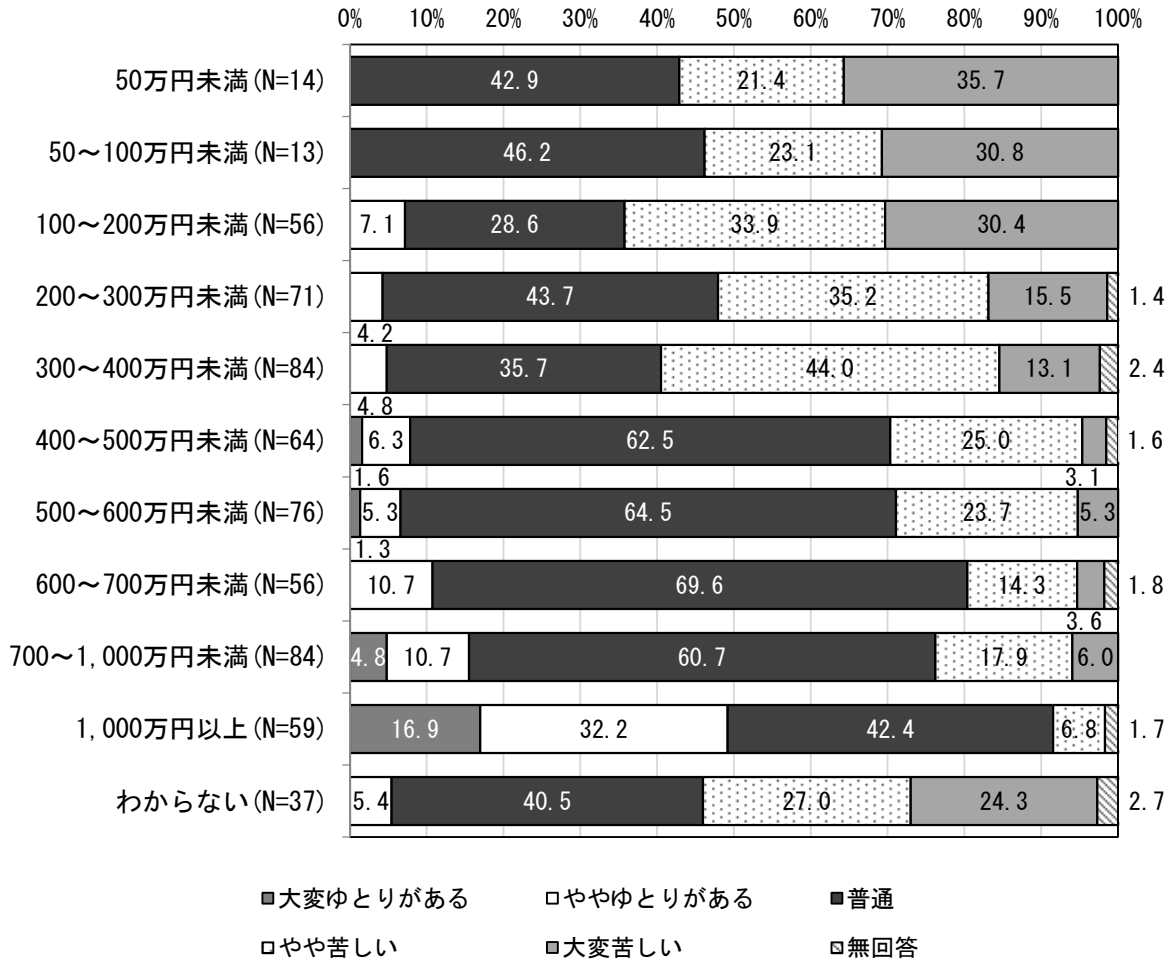


図表2-8-3 問8-1 経済的ゆとり感 × 問8-3(1) 個人の収入 【65歳以上】

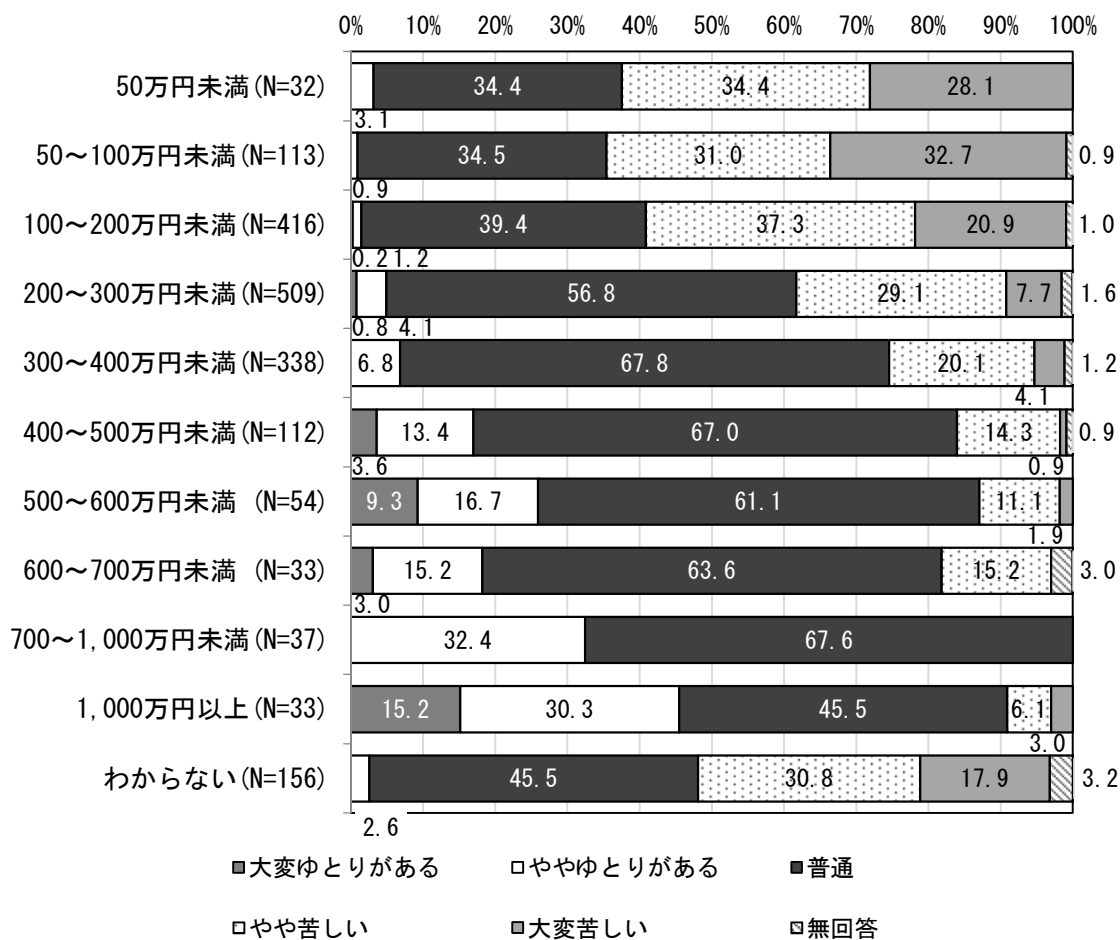


世帯全体の年収別にみると、個人の年収別と同様に、「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた割合は、世帯収入が高いほど、その割合は高くなっている。

図表2-8-4 問8-1 経済的ゆとり感 × 問8-3(2) 世帯収入 【64歳以下】



図表2-8-5 問8-1 経済的ゆとり感 × 問8-3(2) 世帯収入 【65歳以上】



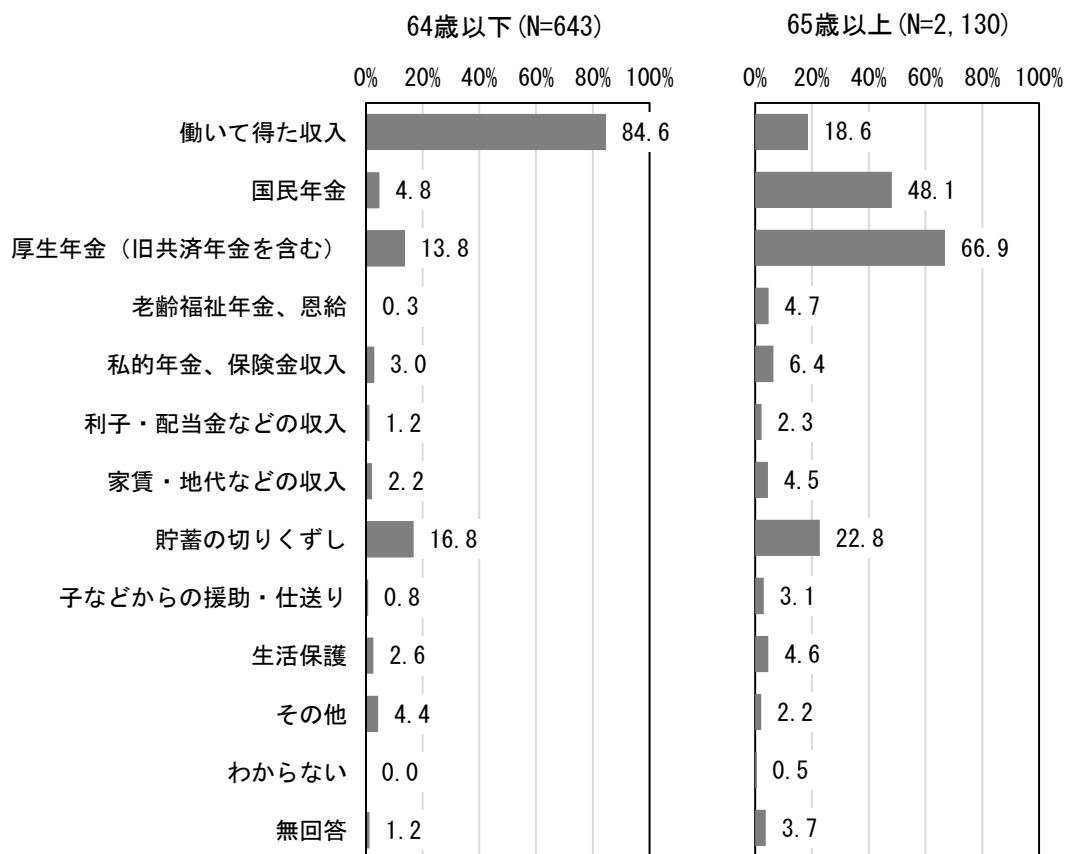
## 問8-2 生活費に充てている収入

[複数回答]

生活費に充てている収入などは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

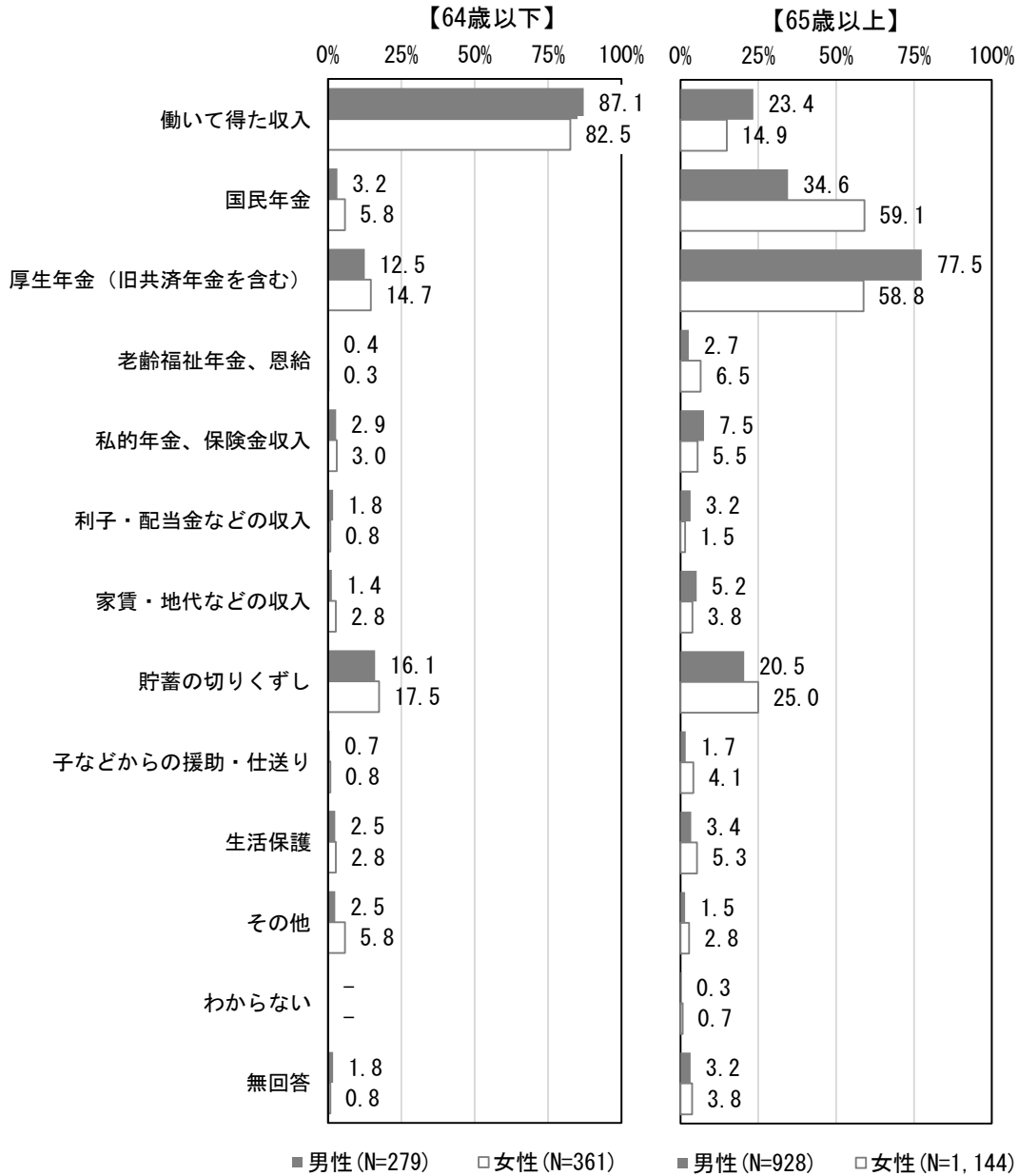
生活費に充てている収入についてたずねたところ、64歳以下は「働いて得た収入」(84.6%)が最も多く、次いで、「貯蓄の切りくずし」(16.8%)、「厚生年金(旧共済年金を含む)」(13.8%)となっており、65歳以上は「厚生年金(旧共済年金を含む)」(66.9%)が最も多く、次いで、「国民年金」(48.1%)、「貯蓄の切りくずし」(22.8%)となっている。

図表2-8-6 生活費に充てている収入



男女別にみると、64歳以下は、男女共に「働いて得た収入」が最も高くなっており、65歳以上は、男性は「厚生年金（旧共済年金を含む）」（77.5%）、女性は「国民年金」（59.1%）が最も高くなっている。

図表2-8-7 問8-2 生活費に充てている収入 × 問1-1 性別



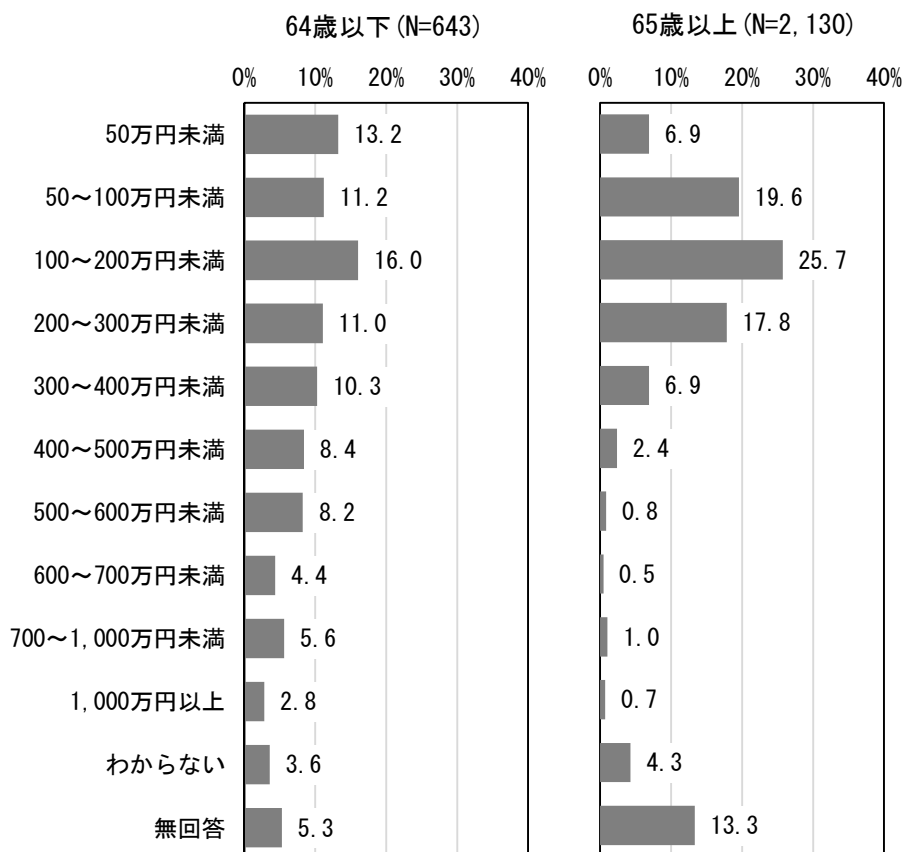
### 問8-3 収入について

#### (1) 個人の収入

あなた個人の平成27年1年間の収入（税込み）はいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

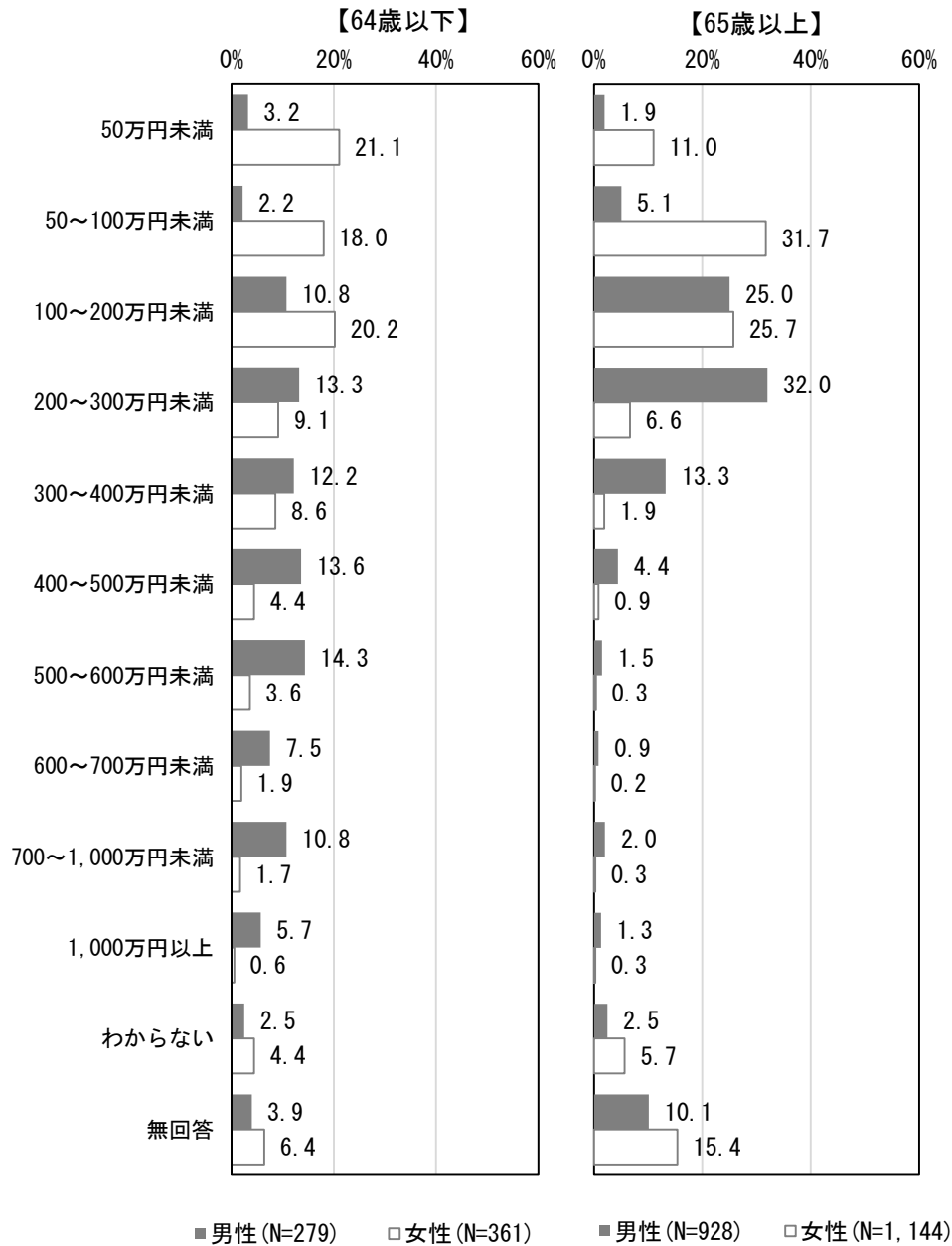
平成27年1年間の本人の収入についてたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「100～200万円未満」が最も多く、64歳以下は16.0%、65歳以上は25.7%となっている。次いで、64歳以下は「50万円未満」（13.2%）、「50～100万円未満」（11.2%）となっており、65歳以上は、「50～100万円未満」（19.6%）、「200～300万円未満」（17.8%）となっている。

図表2-8-8 個人の収入



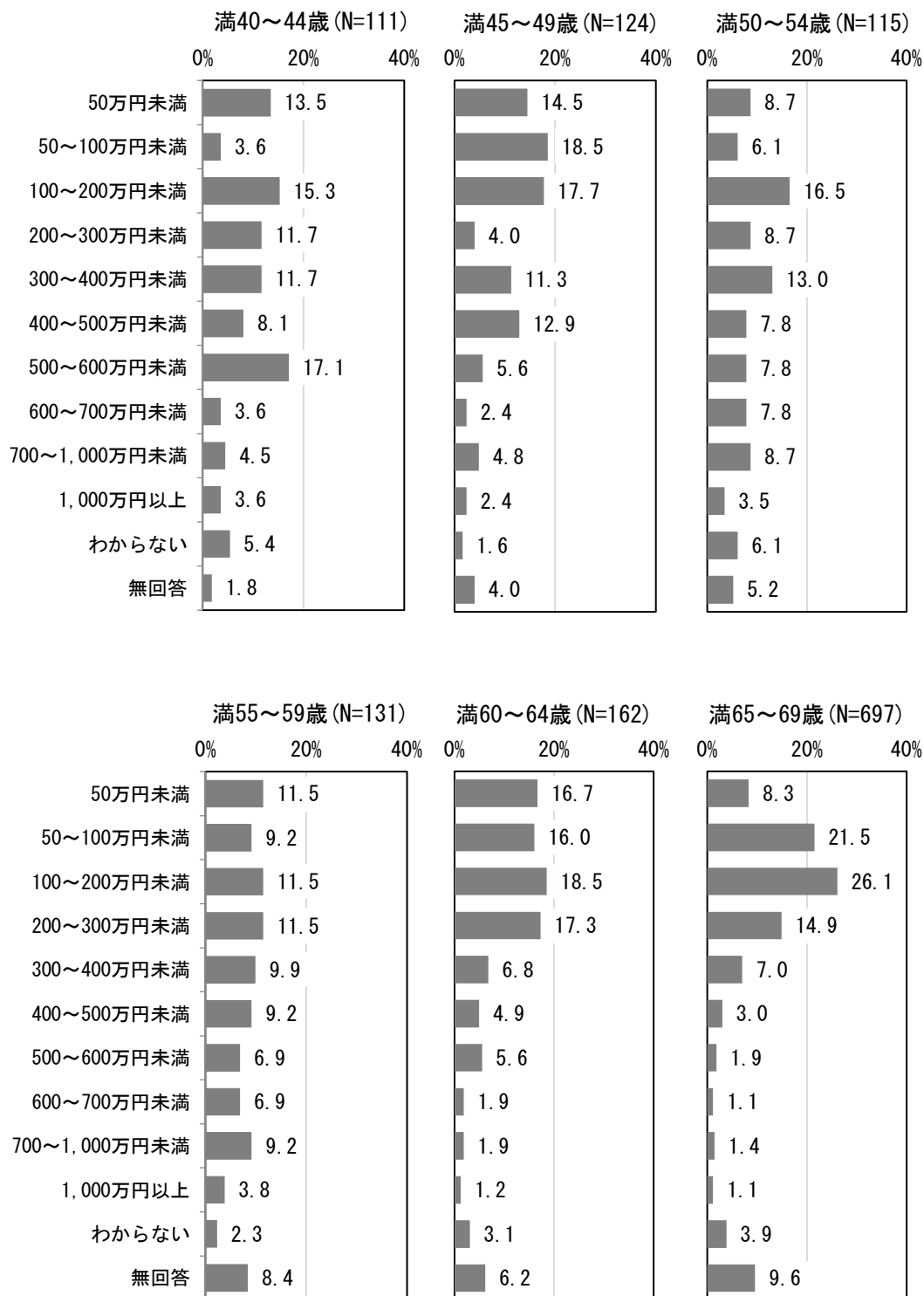
個人の収入別にみると、64歳以下で、男性は「500～600万円未満」（14.3%）、女性は「50万円未満」（21.1%）が最も高くなっており、65歳以上で、男性は「200～300万円未満」（32.0%）、女性は「50～100万円未満」（31.7%）が最も高くなっている。

図表2-8-9 問8-3(1) 個人の収入 × 問1-1 性別

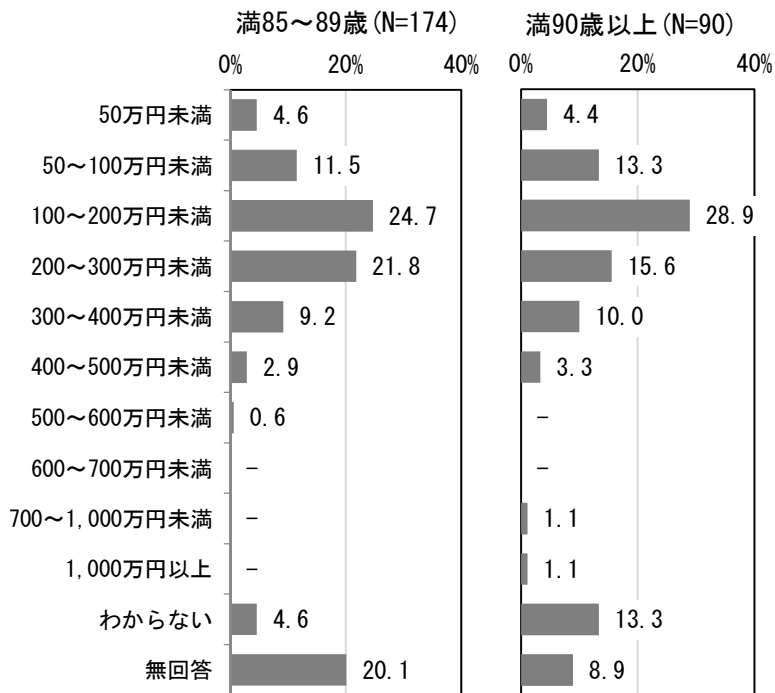
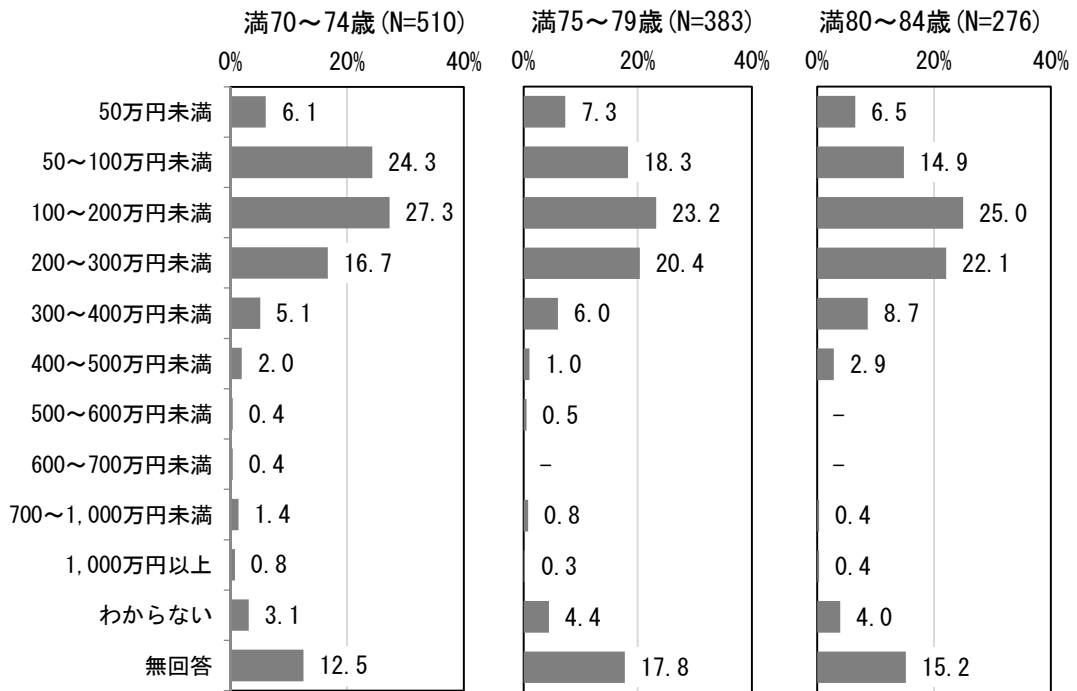


年齢別にみると、満60～64歳からは、年齢層が高くなるにつれ「100～200万円未満」とする割合が高くなっている。

図表 2-8-10 問 8-3(1) 個人の収入 × 問 1-2 年齢





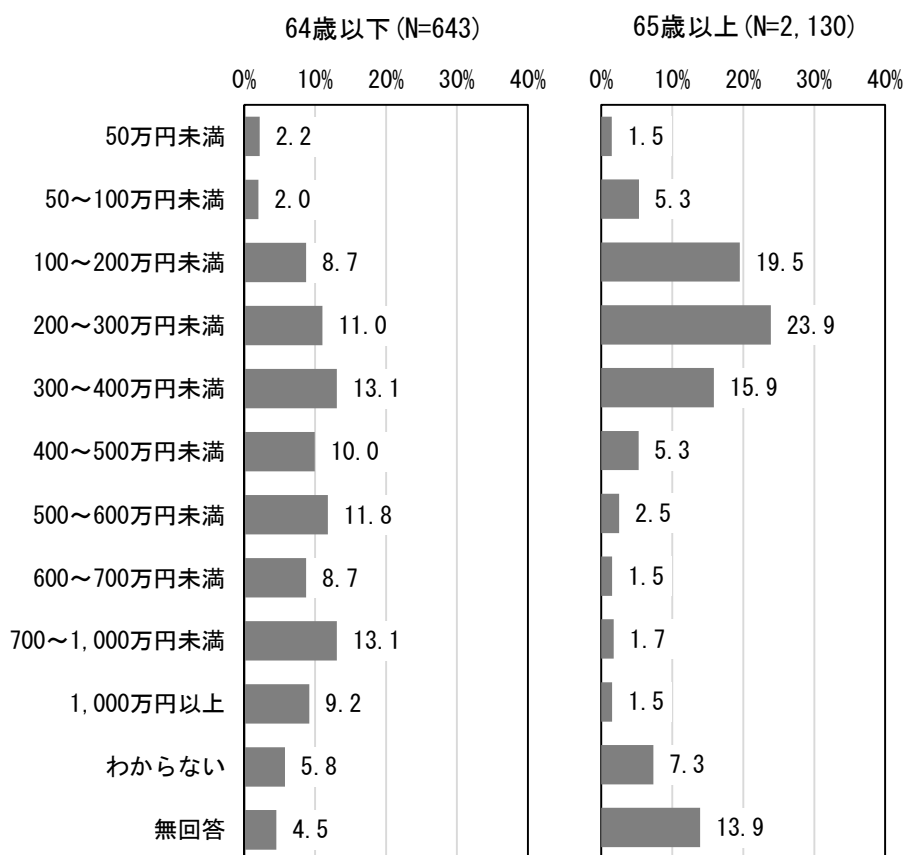


## (2) 世帯収入

あなたの世帯全体の平成27年1年間の収入（税込み）はいくらですか。あてはまるものの1つに○をつけてください。

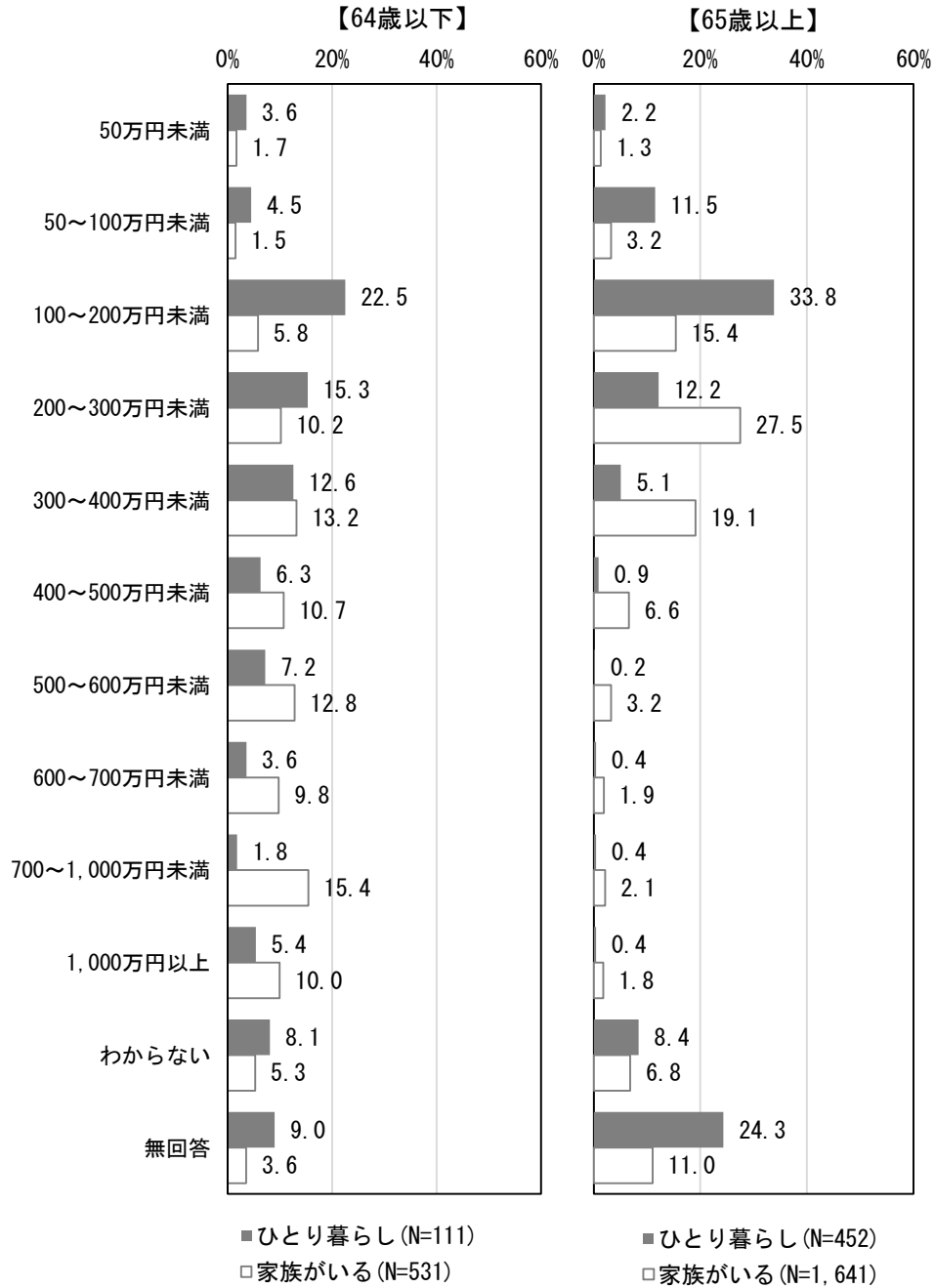
平成27年1年間の世帯全体の収入についてたずねたところ、64歳以下は「300～400万円未満」（13.1%）・「700～1,000万円未満」（13.1%）が最も多く、次いで、「500～600万円未満」（11.8%）、「200～300万円未満」（11.0%）となっており、65歳以上は、「200～300万円未満」（23.9%）が最も多く、次いで、「100～200万円未満」（19.5%）、「300～400万円未満」（15.9%）となっている。

図表2-8-11 世帯収入



家族構成別にみると、「ひとり暮らし」と回答した人は、64歳以下・65歳以上共に、「100～200万円未満」とする割合が最も高くなっている。

図表2-8-12 問8-3(2) 世帯収入 × 問2-1 同居家族の有無

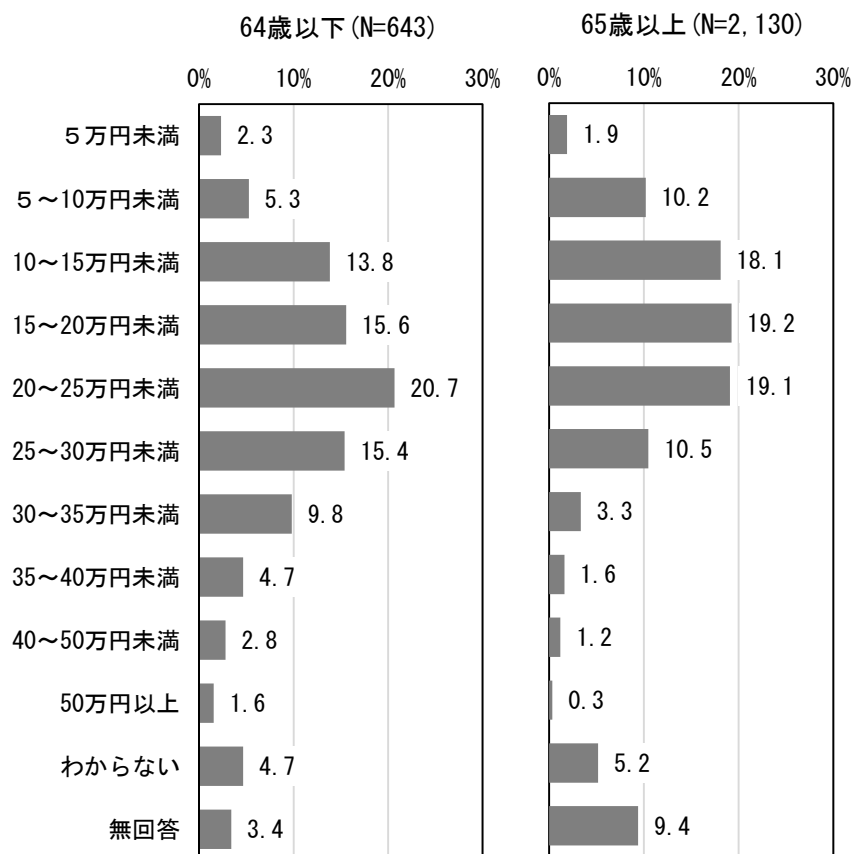


## 問8-4 世帯の生活費

あなたの世帯全体の1ヵ月あたりの生活費（家賃や食費、日用品費など、1ヵ月生活するために必要なお金）はどのくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

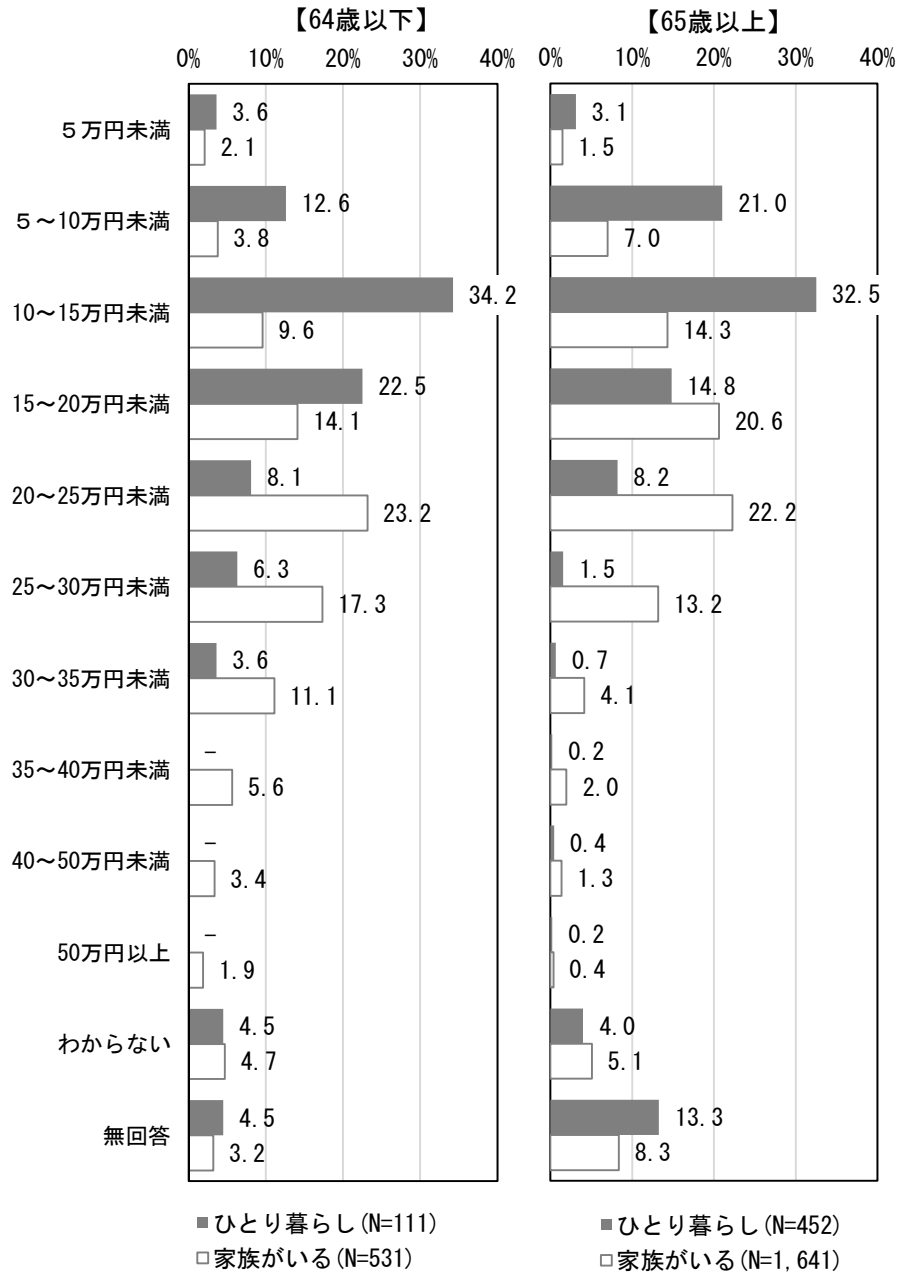
世帯全体の1ヵ月あたりの生活費についてたずねたところ、64歳以下は「20～25万円未満」（20.7%）が最も多く、次いで、「15～20万円未満」（15.6%）、「25～30万円未満」（15.4%）となっており、65歳以上は、「15～20万円未満」（19.2%）が最も多く、次いで、「20～25万円未満」（19.1%）、「10～15万円未満」（18.1%）となっている。

図表2-8-13 世帯の生活費



家族構成別にみると、「ひとり暮らし」と回答した人は、64歳以下・65歳以上共に、「10～15万円未満」とする割合が最も高くなっている。

図表2-8-14 問8-4 世帯の生活費 × 問2-1 同居家族の有無

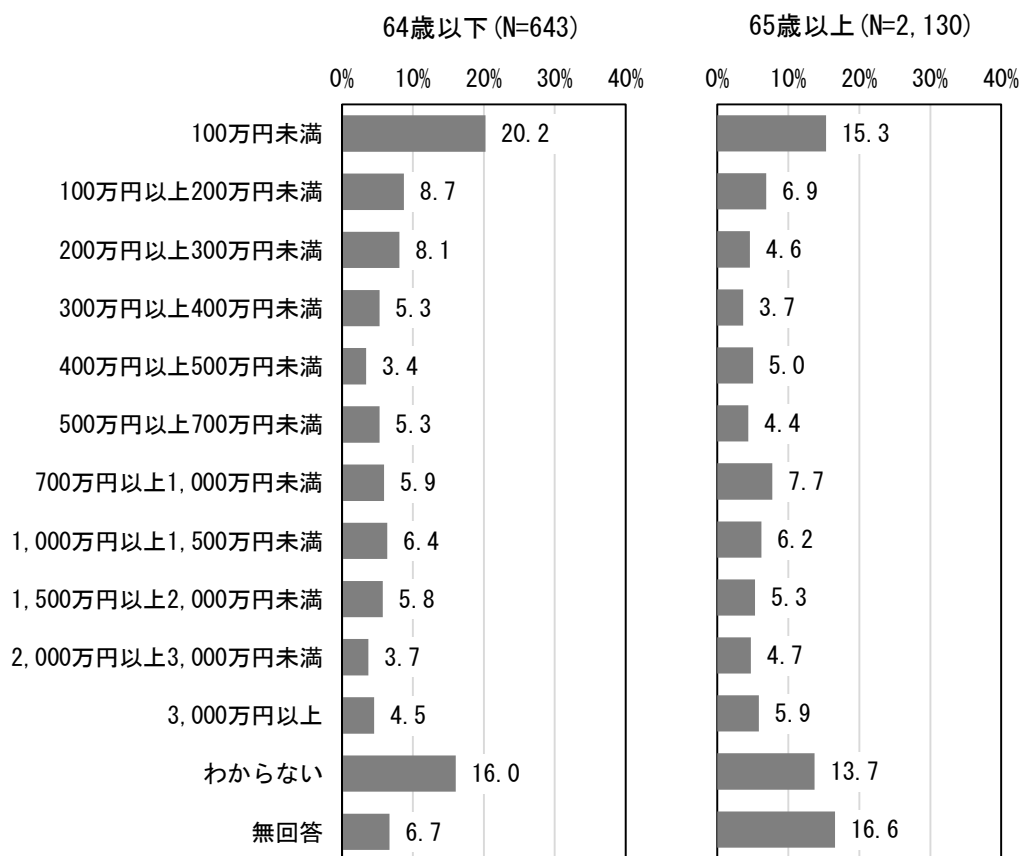


## 問8-5 世帯貯蓄額

あなたの世帯全体の貯蓄の合計額はおよそいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

世帯全体の貯蓄額についてたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「100万円未満」が最も多く、64歳以下は20.2%、65歳以上は15.3%となっている。次いで、64歳以下は「100万円以上200万円未満」(8.7%)、「200万円以上300万円未満」(8.1%)となっており、65歳以上は、「700万円以上1,000万円未満」(7.7%)、「100～200万円未満」(6.9%)となっている。

図表2-8-15 世帯貯蓄額



家族構成別にみると、「ひとり暮らし」と回答した人、「家族がいる」と回答した人共に、「100万円未満」とする割合が特に高くなっている。

図表2-8-16 問8-5 世帯貯蓄額 × 問2-1 同居家族の有無

